

關大

第541号

平成19年(2007年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学会館

電話 06(6368)1121(代) FAX 06(6380)8476

URL <http://www.kandai-koyukai.com/>

Eメール koyukai@jm.kansai-u.ac.jp

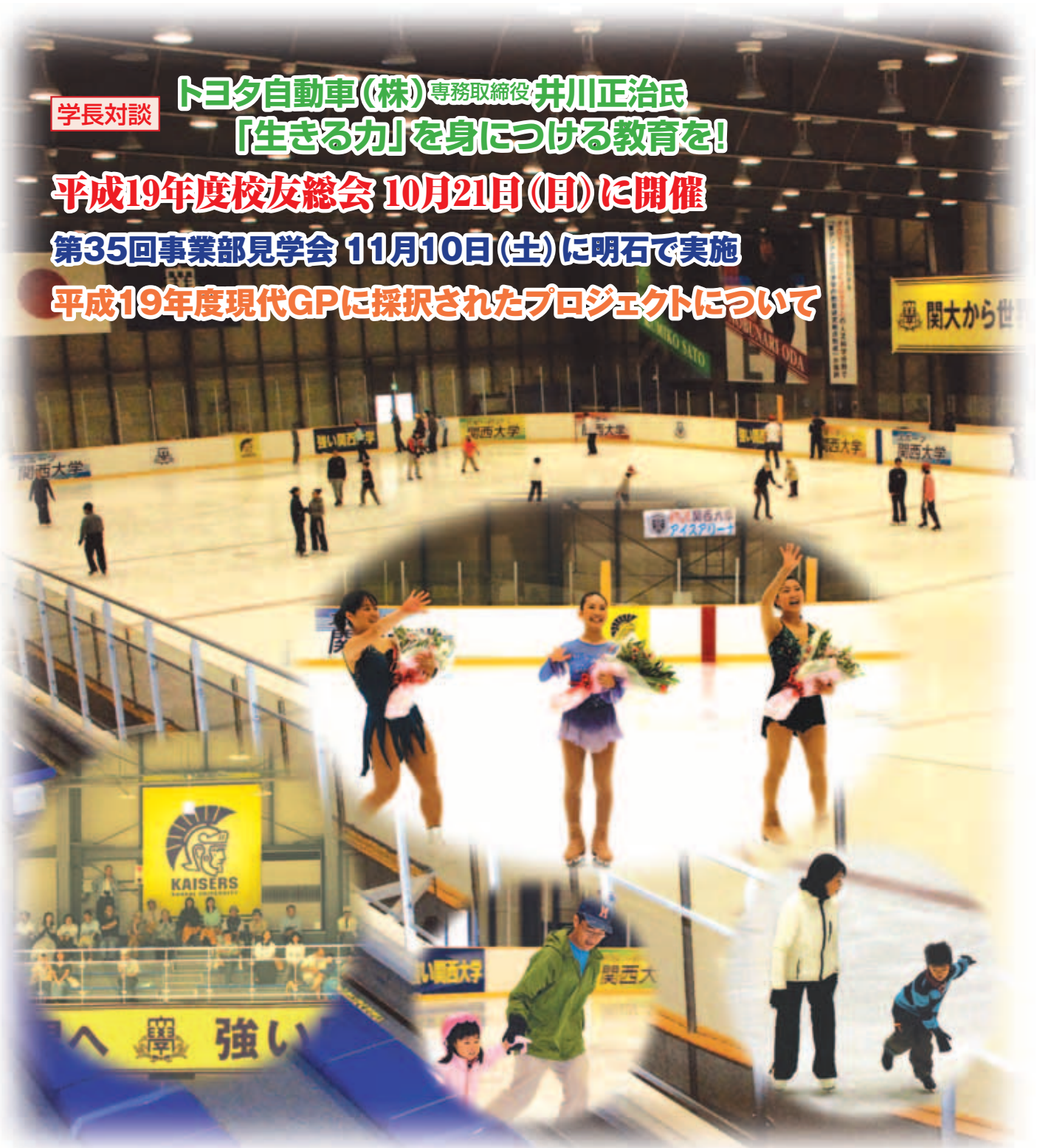
学長対談

トヨタ自動車(株)専務取締役 井川正治氏
「生きる力」を身につける教育を!

平成19年度校友総会 10月21日(日)に開催

第35回事業部見学会 11月10日(土)に明石で実施

平成19年度現代GPに採択されたプロジェクトについて



カンダイミング 2



～慰霊碑～

創立90周年記念事業の一つとして、有志が出し合った浄財233万円(154件)により、関西大学会館北隣の外苑に昭和51年4月7日に建立された。(写真左)

高さ1.9mの能勢黒自然石で、表面に校章と「慰霊碑」の文字、裏面には横田健一文学部教授撰・久井忠雄理事長筆書の「～今日の本学の盛大をもたらされた創立者をはじめ 法人の関係者 教職員の方々 校友諸先輩の血涙の努力に対し 感謝の念新たなるものがあります ここに本学関係者の諸霊を弔いこの碑を捧げます～」との碑文が刻まれている。

平成13年、第3学舎(社会学部)3・4号館の増築に伴い、関西大学会館北側の旧瓢箪池跡地に移設された。

法人では、毎年大学関係者・校友・学生等の遺族を招いて慰霊祭を執り行っており、これまでの芳名録埋納者数は11,500柱。今年は11月8日に行われる。(肩書等は全て当時)

「生きる力」を身につける教育を!

対談

井川 正治

トヨタ自動車株式会社
専務取締役

河田 悌一

関西大学 学長

「ニッパンのついた自動化」が 会社も大学も変える

過去最高益を次々と更新するトヨタ自動車。その強さを支えているのは「トヨタ生産方式」と言われています。トヨタの生産・生産技術業務に携わってきた関西大学OBの井川正治・トヨタ自動車(株)専務取締役に、関大時代の思い出とともに、大学のあり方にも通じるトヨタの強さの理由や人材育成方法についてお話を伺いました。

■粘り強さを学んだ関大の授業

すか。

井川 大学を訪れたのは八年ぶりにな

河田 関大は昨年、創立一二〇周年の節目を迎えました。教育、研究、就職、スポーツなどあらゆる分野に「強い関西大学」「品格ある関西大学」を宣言して、政策創造学部の新設など新しい取り組みを始めています。井川さんが卒業された工学部も、産業や科学技術の最先端の「しくみづくり」を学ぶシステム理工学部、地球規模での「まちづくり」を考える環境都市工学部、分子から新素材、生命まで「ものづくり」を学ぶ化学生命工学部の三学部が改組されました。こうした母校の様子をどのようにご覧になっていますか。

すね。

河田 ありがとうございます。従来の

七学部体制が現在では十学部体制となり、大学の存在感もこれまでに増してきました。名古屋さらに東京方面からの受

験生も増えてきています。改革を進めるだけでなく、一方で「学の実化」という関大の伝統はこれからも大切にしていきたいと考えています。

井川 私が関大に入学したのは、工学部ができて十年目ぐらいだったと思います。ちょうど充実し始めた時期ですね。

企業に勤務されていた経験のある先生が多く、ものを考える基本を教えていたのだと思います。

河田 どのような先生の授業が印象に残っておりますか。

井川 まず、北野広雄先生の授業ですね。特別面白い授業ではなかったのですが、先生が設計をされていたこともあって、実際に図面を描く時間がありました。

製図だけではなく、強度計算やコスト計算もさせられるのです。当時はそれほど興味も持ちませんでしたが、卒業して企業に入ってから役に立ちました。基本的なことを図面上で自分でできないようでは、技術者としてはやっていけないから。もっとまじめに授業を聴いておけば良かったと思うぐらいです。

また、僕は田中輝夫先生の研究室で修士号を取ったのですが、ここでは粘り強くやることをたたき込まれました。論文を書くには、実験データから類推し、理屈を立てていかなければならないのですが、毎回データが異なるのです。これでは理屈が立たない。それでも「粘り強くやれ」というのが田中先生の主義でした。





ね。何とかデータを積み上げて一つの公式を作ったのですが、それが認められるかどうかは別にして、まじめにこつこつとデータを取っていく、根気よく取り組むということを学びました。企業で仕事をしていく中でも、一番大切なのは「失敗データをいかに生かすか」なんです。成功データよりも失敗データから学ぶことの方が多。しかし、失敗から成功につながるには粘り強くやっていかねばなりません。そういう意味では、先生の教えは今でも役に立っています。

学会発表をさせていただいたのも良かったですね。大学院生の学会発表は当たり前ですが、当時、大学四年生で学会発表したのは私ぐらいではないでしょうか。

■語学の大切さ

学会発表をすると周りから注目されるのはもちろんですが、企業も学会に参加していますから、企業と大学で興味の持ち方がどう違うのか、どういう研究テーマがあるのか、といったことも学べます。学生にとっては恵まれたチャンスですね。

河田 工学部は陽明学的な「知行合一」の実学的な教育、「学の実化」をずっと実践してきているんですね。今のお話からも、当時の関西大学工学部の活気ある様子がよく分かります。

井川 倉田忠雄先生の授業もよく覚えています。英語の教科書だけで授業を進

められるのですが、だいたい一回の授業で四十ページぐらい進むのです。訳していくだけで大変ですよ。もともと英語はあまり好きではなかったのですが、サークル活動で「工業英語研究会」に入っていましたから、倉田先生の授業とサークルのおかげで、読解力はいつたし、自信にもなりました。もっとも、これだけで十分な英語力に達したというわけではありませんが、今でも自分に一番足りないと思うのは英語力です。現在、トヨタではTOEICで一定以上の点数を取ることで昇進の条件になっています。今の時代なら、僕は昇進できなかったかもしれない(笑)。

河田 入学式の際、新入生へのメッセージとして外国語をぜひとも習得してほしいと話しています。学会発表も学部・専攻を問わず、どんどんグローバル化している。本学でも英語でのシンポジウムが行われたりしています。例えば、工学研究科が姉妹校であるタイのチュラロンコン大学、タマサート大学、マレーシアのマレーシア科学大学や各国の研究機関等と本学を会場として行う予定の国際シンポジウムはすべてを英語で行います。

英語力の重要性は痛感するところですね。平均的な学生がある程度英語を使って仕事ができるようになるためには、およそ一千時間以上の学習が必要だそうですが、授業だけではとてもそこまでの英語力をつけることはできません。そこで、これを補うための試みを始めています。eラーニングシステムを用いて、工学部の専

プロフィール

井川 正治(いかわ しょうじ)

昭和五十年、関西大学大学院工学研究科修士課程機械工学専攻修了。同年トヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社)に入社。平成十三年取締役就任、平成十七年専務取締役および生産技術本部本部長に就任、現在に至る。

門教育と語学教育を連動させた専門英語教育の取り組みもその一つです。

井川 企業に入って、日常の業務を進めるだけなら、特に英語力は必要ありません。ただ、海外に赴任することになって、そこで生活するのに語学が駄目だと生活そのものが行き詰まってしまう。逆に、日常生活ができるレベルで語学ができれば、毎日が楽しくなるのです。日常生活がうまくいくと、仕事もうまくいく。そういう意味で、英語力は大学でもぜひ重視していただきたいと思っています。

河田 先ほど、サークル活動のお話が出ましたが、サークル活動を一番の思い出に挙げる卒業生は多いですね。

井川 サークル活動でいいのは、仲間といろいろなことを話し合ったり、イベントを企画したりできることです。リーダーシップを発揮し、イベントの演出を考えたりすることもできる。大学祭で模擬店を出すようなことも楽しいのですが、どんなイベントにせよ「企画する」とい

うことが大切です。今でも付き合っている大学時代の友達も、サークルの友達がほとんどです。

■上司に恵まれ鍛えられた日々

河田 多くの企業の中から、トヨタに入られたのは、どういうきっかけだったのでしょうか。

井川 田中輝夫先生に、日立製作所かトヨタはどうだと勧められたのです。僕は名古屋に住んでいたことがあって、トヨタに良いイメージを持っていました。トヨタは学閥もないし、ファミリー的な雰囲気がありましたから。トヨタは綱領の中で、自動車を通じて国、社会に貢献するということと、ファミリー的なもの、チームワークを大切にするということをしたっています。もう一つ、もともと制御工学を専門に学んでいましたから、そ

れを生かせる自動車メーカーか造船に行きたかったということもありますね。

河田 具体的には、これまでどのような仕事をされてきたのですか。

井川 入社して、どういう仕事をしたいかと尋ねられたとき、僕は「開発が得意ではないので製造現場に近いところに行かせてほしい」と言っただけです。普通は開発希望が多いらしいのですが、すると「珍しい人間だ」と言われて、生産技術の部署に行くことになりました。ここは現場に近い開発部署で、仕事の内容は新しい工程の開発です。部品開発や電子技術にも携わりましたが、もっぱら新工程開発で、他には工場建設ですね。

河田 トヨタという世界的な企業の中の毎日はいかがですか。

井川 僕は、出会った上司に恵まれました。最初の上司からは、特許申請して拒絶通知が来ると、「同じことを考える

人間は世界に十人はいる。それをいち早くものにした者が勝つんだ」と言われました。「拒絶が来る特許ほど見込みがあるのだから、どこが相手と主張が違うのか、きちんと反論して来い」と言うわけです。これには鍛えられました。

さらに別の上司には、企業での開発のあり方を教えられました。入社後の実習で違う部署に行かされたとき、アルミを用いることでの軽量化の取り組みに携わったのですが、その報告の際、「現在のアルミの時価ではコストはどうなる」と尋ねられたのです。そこまで考えていませんでしたから、驚きましたよ。でも、企業ではいくらい技術を開発しても、コストがかかりすぎても商品化できない。コスト計算は必須なのです。それ以来、日経新聞で材料の時価は必ずチェックするようにになりました。

■トヨタの強さを支える「トヨタ生産方式」

河田 現在、トヨタの強さの根底を支える「トヨタ生産方式」が注目を集めています。これはどういったものなのでしょうか。

井川 トヨタ生産方式とは、基本は「ジャスト・イン・タイム」と「自動化」です。「ジャスト・イン・タイム」は、必要なときに必要なものを必要な量だけ生産するということです。例えば、作ったものは決まった棚に置くわけですが、これを引き取ってもらえないと次に作った

ものを置くことができなくなってしまう。4
いつ作るか、何が必要かといった情報は、お客様からのオーダーが入ってから、「かんばん」によって後工程から前工程に伝えられる為、前工程では本場に必要量だけを作ればよい。トヨタ生産方式の「ジャスト・イン・タイム」の基本は、後工程引取りです。

もう一つの「自動化」とは、標準作業や入出力に異常が発生したら機械でも人でも、自動的に止めて不良を作らないのが「自動化」です。不良品が出てしまわない機械を、トヨタでは自動機械とはいいません。仕事を標準化しておき、問題があれば止めることができる、これが自動化であり、トヨタではニンベンのついた「自動化」というのです。また、それを知らせる道具が、アンドンです。

「ジャスト・イン・タイム」と「自動化」のどちらも、問題が起こったときに大切なことは、とりあえず直すのではなく、真因追究し、真の要因をつぶすことです。そして、たえず問題を顕在化・共有化することで、新たな問題を早期解決できるような、改善・革新のできる人材育成につながるのです。

河田 一人ひとりが能力を高めて、システムの改善に取り組んでこそ、過去最高益の更新という最大の効果を発揮することができるといえることですね。大学のあり方にも参考になるお話です。

井川 中越沖地震の際も、地震という異常が発生したから生産ラインが止まったんです。ラインが停止したとマスコミ





には騒がれましたが、異常があったのに止まらないようでは、そちらの方が問題です。製品を作り足りないのは、販売の機会をムダにしたという損失だけで済みますが、在庫があるのに売れないとなると倒産の危機に陥ってしまう。リスクが大きいのとはくさんの在庫を持つ方です。そう考えると、トヨタ生産方式が優れていることがお分かりいただけると思います。

■女性の力をもっと活用してほしい

河田 近年、学生たちの就職活動を見ていると、企業は学生に問題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを求めているように感じます。関大でも、さまざまな機会を通じてそういった能力向上に努めています。企業が求める学生像とはどのようなもの

なのでしょう。

井川 先ほども申しましたが、最低限の語学力は必要ですね。語学は単なる知識ではなく、海外で生きる力につながります。もちろん、会社に入ってからそういう教育は必要ですが、大学でも、もっとこうした「生きる力」を身につける教育をしていただきたい。授業に限らず、サークルなどの課外活動を通してでもいいのです。生活できる能力があれば、あとはやっていけるものですから。

河田 関大の学生は、比較的「生きる力」は強いと思うのですが、それでも以前に比べると、いくらか線が細くなったかもしれません。

井川 だいたい、どんなことでも、一〇〇のうち七〇はうまくいかないものですね。それでもくじけない人、粘り強さのある人がいいですね。粘り強さを身につけるには、若いうちに成功体験をさせる

べきです。成功すると人は育ちます。それも誰かの指示通りにやって成功するのではなく、自分から企画、実行しての成功体験です。指示通りにやっての成功は、言われたことしかできない「指示待ち人間」になりますが、自分から企画しての成功ならば、常に企画からが自分の仕事だと考えるようになります。

今の学生は皆優秀ですが、お膳立てをしないと駄目なのではないでしょうか。企業には、一人ひとりに対して手取り足取り教えている暇はありません。結論もないんです。自分から物事に取り組む前向きな人、自分で物事を考えられる人がいいですね。

河田 関大でも、将来の自分の生き方、働き方について主体的に考えるよう働きかけ、自立型社会人の育成を目指す「キャリア教育プログラム」を全学部の学生を対象に行うなど、学生を育てるということを重視しています。さらに付け加えるとすれば、どのような人材育成を目指すべき、とお考えでしょうか。

井川 グローバル化の時代ですから、国際的に通用する人を育ててほしいですね、日本の社会だけで終わる時代ではありません。インターンシップなどを利用したり、留学等で海外経験を持つ学生を増やしたりするといったのではないのでしょうか。アメリカやヨーロッパに行く学生は多いのですが、企業側からすると近年、経済成長が著しいブラジル、ロシア、インド、中国のBRICsでの滞在経験がある学生などに来てほしいと思います。

ます。

河田 確かに、BRICsをはじめとする新興国の発展には目覚ましいものがありますね。関大でも、アメリカなどの先進国だけでなく、タイ、エクアドル、マレーシア、ベトナムなどの大学との協定を締結するなど、さまざまな国々との交流を深めています。

井川 ぜひ、そうやってグローバルに人を育ててください。あとは女性の力を生かすことでしょうか。トヨタの役員も男性ばかりですが、大学でも女性が働きやすい環境をもっと整える必要があるのではないのでしょうか。女性が社会で活躍できるだけの力をつけてきているのに、まだまだ日本は男性社会です。少子化が進む現在、もっと女性に働いてもらえる環境にしないといけません。その為には、働きながら子育てのできる環境が必要ですね。女性が入ってくるだけで労働者人口はものすごく増えますよ。せっかくの力を生かさないのは、大きな損失です。

河田 確かに、女子学生数は学部を問わず増えましたし、卒業式の総代も女子学生が優勢です。ただ女性教員はまだまだ少ないですね。学生たちを見ていても、女子学生の方が元気でし、学生だけでなく、教員としても、もっともって女性の力を活用できるよう、環境を整えていきたいと思います。

また、「学の実化」をより実践するためにも、企業出身の教員をもっと増やすことも必要だ、と考えています。今日はありがとうございました。

平成十九年度現代GDPに採択された「農山村集落との交流型定住による故郷づくり」 「持続的に、関わり続けるという定住のカタチによる 二十一世紀のふるさとづくり」プロジェクトについて

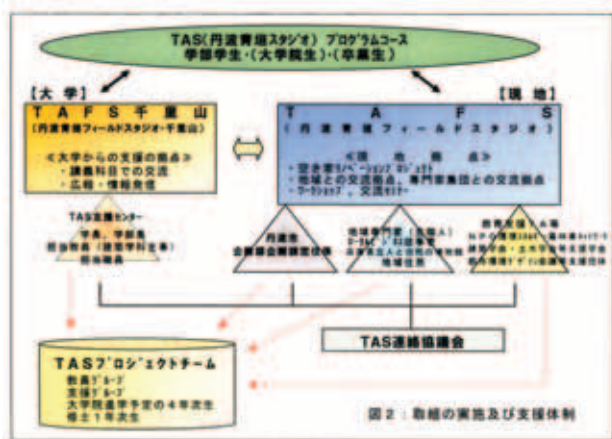
本取組の概要は、「過疎化した農山村集落の活性化は、現代日本の大きな課題である。一方、都市住民として育った現代の大学生には、将来子供達や孫を連れて帰省する豊かな山河のあるところがない。本取組は、過疎化し空き家の多く存在する農山村集落において、その空き家リノベーションをきっかけにして、人的物的地域資源の再活性化を図り、継続的永続的に関わり続けることのできる拠点の創生ならびにローカルコミュニティビジネスの創出を図り、学生及び卒業生やその家族が常に住まい、

訪れ、帰ることのできる環境を形成するという構想を基にしており、二十一世紀のふるさとづくりのプロジェクトである。参加する学生にとっては、自らの周辺環境を巻き込んで、将来的にも継続的にも様々な側面から参加し続けることのできる教育実践の場となり、社会貢献の場ともなる。丹波市青垣町を舞台に、大学と自治体、専門家集団が協働するフィールド交流型教育プログラムである。」というものである。

全体の目的は、①社会貢献を目的として「建築」や「まちづくり」を学ぶ学生達にとって、基礎的な学習・研究としての座学に加え、実際のフィールド（現場）で起こっている問題に対して、いかに考え何をどう実行すればよいのかといったフィールドにおける実体験教育を、継続的継続的な視点で行うことである。歴史的な背景、自然環境的な背景を学び、現地での実体験、交流によってさらに体験を積み上げ、現地の人々と一緒に

現地での滞在型体験学習を経験した学生やその家族が、将来的にも住まい、訪れ、帰ることのできる環境（「ふるさと」）を創るという構想で、その延長として、NPO的なローカルコミュニティビジネスの創出を図り、ひいては、実際に定住する若者が出現するというシナリオの実現を図ることである。その結果が、過疎に悩む地域の再生につながるという、教育の実践と、現実社会への貢献の具体化の両方を視野に入れた目的をもつものである。

研究室（建築環境デザイン研究室）の研究室活動として、所属の学生グループが応募し、丹波市長賞を受賞したことに始まる。この計画案は、丹波市佐治市街地を舞台に、定住と交流のふるさととなる魅力的なまちづくりを提案するもので、今後の丹波市のまちづくりの「シナリオ」として説得力のある提案と評価された。提案にあたっての、学生とのディスカッションのなかで、「関わり続けるという定住のカタチ」を思いつき、学生がそれをもとに計画提案としてまとめたのである。丹波市は、すでに



取組と実施及び支援体制（計画）

目的として「建築」や「まちづくり」を学ぶ学生達にとって、基礎的な学習・研究としての座学に加え、実際のフィールド（現場）で起こっている問題に対して、いかに考え何をどう実行すればよいのかといったフィールドにおける実体験教育を、継続的継続的な視点で行うことである。歴史的な背景、自然環境的な背景を学び、現地での実体験、交流によってさらに体験を積み上げ、現地の人々と一緒に

全体の目的は、①社会貢献を目的として「建築」や「まちづくり」を学ぶ学生達にとって、基礎的な学習・研究としての座学に加え、実際のフィールド（現場）で起こっている問題に対して、いかに考え何をどう実行すればよいのかといったフィールドにおける実体験教育を、継続的継続的な視点で行うことである。歴史的な背景、自然環境的な背景を学び、現地での実体験、交流によってさらに体験を積み上げ、現地の人々と一緒に

現地での滞在型体験学習を経験した学生やその家族が、将来的にも住まい、訪れ、帰ることのできる環境（「ふるさと」）を創るという構想で、その延長として、NPO的なローカルコミュニティビジネスの創出を図り、ひいては、実際に定住する若者が出現するというシナリオの実現を図ることである。その結果が、過疎に悩む地域の再生につながるという、教育の実践と、現実社会への貢献の具体化の両方を視野に入れた目的をもつものである。



青垣町佐治の町並み



関西大学では世界各国の大学との協定締結を進めておりますが、このたびチュラロンコン大学（タイ）との学術交流を進めるなか、同様にタマサート大学（タイ）、マレーシア科学大学の研究者、さらにタイの研究機関であるタイ国立金属技術センター（MTEC）が加わり、ASEAN諸国の研究者、大学院

市企画部企画課内に定住対策係を設置して様々な取組を実施していたが、この提案の内容の具体化が期待され、このことをきっかけとして、関西大学と丹波市との包括協定が締結（二〇〇七年五月九日）されるまでに話は展開し、その後、本取組の現代GPへの採択が発表（二〇〇七年五月三〇日）されたのであ

「理工学国際シンポジウム二〇〇七」成功裏に開催！

る。こういった経過からわかるように、本取組は、まさに時を得た取組で、丹波市からの大きな協力体制も約束されており、教育面にとどまらず、社会に有効な成果もまた、期待されるものである。

（環境都市工学部建築学科教授 江川直樹）

生が一堂に会して、「環境とライフサイエンス」をメインテーマに、七月三十一日、八月一日の二日間、理工学国際シンポジウム二〇〇七を開催しました。

主催は、関西大学工学研究科、理工系三学部（システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部）、関西大学社会連携推進本部・先端科学技術推進機構が共催、近畿経済産業局・関西大学科学技術振興会が後援という、過去に例を見ないシンポジウムとなりましたが、成功裏に開催することができました。

この開催に至る経緯は、科学技術振興会における昨年の創立四十周年記念事業の一環として「上海・バンコク訪問研究会」を挙行し、振興会会員の現地企業を訪問した折、チュラロンコ

ン大学にて催した関西大学とのミニシンポジウムが好評であったので、来年はその返礼として関西大学での開催を要望されていたものです。（昨年の詳細は、機関紙「關大」第五三五号を参照願います）。

タイ・マレーシアからの研究者十八人、大学院生十二人は、七月三十日に関空着、海遊館を見学し、昼には関西大学に無事到着しました。夕刻、ウエルカムパーティを催し、森本靖一郎理事長、河田悌一学長から歓迎のご挨拶を頂戴しました。特に、理事長から「このようなシンポジウムは是非継続を…」との



熱きメッセージをいただき、参加者一同は拍手喝采し、研究代表者として大いに勇気づけられました。

シンポジウムは、タイ・マレーシア・日本の三カ国の国旗が

関西大学出身で高校・予備校へお勤めの皆様へ

★「進路情報提供制度」について、ご存知ですか？

本学出身で高校や予備校・塾にお勤めの皆様に、関西大学の取組み、入試等に関する情報を定期的にお届けします。本学の最新トピックスをお伝えするとともに、進路指導の一助としていただくため、本制度を実施しています。

ご登録いただくと…

○関西大学のタイムリーな情報を、定期的に「無料」でお送りします。

「大学案内」…これ1冊で学部学科内容等、関西大学のすべてがわかる冊子。
「進学ガイド」…関西大学の多様な入試制度についてまとめた冊子。
「関西大学で何が学べるか」…各学部の学びの特色がわかるオリジナル冊子。
「関西大学通信」…関西大学のさまざまなニュースを掲載している新聞。
年9回発行。

「関西大学ニュースレター「Reed」」…関西大学の活動の成果と実際を掲載した冊子。

「関西大学スポーツ」…関西大学体育会各種スポーツの活動状況を掲載している新聞。年6回発行。

「各種入試要項」…AO入試、一般入試・センター利用入試要項 他 etc.



ご登録方法

「Eメール」または「FAX」でご登録願います。

E-mail : nyusi-adm@jm.kansai-u.ac.jp

F A X : 06-6368-0903

ご連絡内容について

件名:OB登録係（メールには必ず左記のとおり、「件名」を入力してください）

- 1 個人データ
氏名（フリガナを含む）・性別・卒業年・出身学部学科
自宅住所・メールアドレス（自宅または勤務先—勤務先のメールアドレスは、個人宛のものをお知らせください）・電話番号・FAX番号
- 2 勤務先データ
学校名（フリガナを含む）・勤務先住所・所属（教員or職員）・担当教科・電話番号・FAX番号
- 3 資料送付先 自宅 or 勤務先（どちらかをご指示ください）
- 4 メール送付先 自宅 or 勤務先（どちらかをご指示ください）

＜個人情報の取り扱いについて＞

※ご登録いただいた個人情報は、本制度における大学情報提供時においてのみ使用します。

お問い合わせ先

関西大学入試広報課

電話 : 06-6368-1121 (代) FAX : 06-6368-0903

E-mail: nyusi-adm@jm.kansai-u.ac.jp

なびく盛夏青空のもと、まずオーブニングセレモニーでは、河田悌一学長、土戸哲明工学研究科長、Y.Narayanaチュラロンコン大学石油化学工学研究科長による挨拶の後、私（田村裕化学生命工学部教授（研究代表者））が基調講演を行いました。引き続き大学院生によるポスターセッション、午後からは、①生分類性多糖類、②生物工学、③金属射出成形、④情報の四分野を包括する「環境とライフサイエンス」のテーマのもとで、各セッションでは、共同研究の成果発表、技術交流、研究者交流が活発に行われ、参加した研究者及び大学院生にとって、従来からの連携を振り返り今後の指針を得る絶好の機会となりました。



寺内俊太郎科学技術振興会会長の挨拶のほか、チュラロンコン大学、タマサート大学、マレーシア科学大学よりユーモアたっぷりのスピーチに、一同はすっかり打ち解け大いに盛り上がりました。



二日目は午前中のみ、まず、ポスター展示者による報告会として、チュラロンコン大学、タマサート大学、マレーシア科学大学そして先端科学技術推進機構のPDや大学院生など新進気鋭の若手研究者が、持ち時間五分の発表に臨みました。最後に、セッション代表者による総括があり、閉会セレモニーでは、土戸哲明化学生命工学部長の挨拶後に、全員が記念写真に納まりました。

ジンギに各招聘者を招待しました。昨年、逆の立場でチュラロンコン大学を訪問した会員等も参加し総勢六十五人が集い親睦を深めました。特に、タイ・マレーシアから来た大学院生達は、異国の地でのシンポジウムを終えた安堵感・開放感から、大阪の夜景を船上から眺めつつ肩を組み話が弾み、実に和やかな雰囲気の中、ジンギでした。



招聘者一行は、シンポジウムの成功だけでなく水都大阪の素晴らしい印象をお土産にして、関空発で帰国されました。

ようです。しかし、この国際的な研究討論の場に居合わせたことにより、広い視野での研究を企画・実行する研究力を養い、今後の教育研究において将来さらに国際的研究感覚のある研究者への素養を身に付ける貴重な体験をしたものと考えます。また、シンポジウムはASEAN諸国における日本の果たす役割を考える下地となり、大学院生にとって、近い将来の日本社会、技術革新を支え発展させる有為な人材に育つ可能性を秘めています。もちろん各研究者にも、互いに実りある国際交流の場になったことでしょう。



最後にありますが、予算面での特別配慮をいただき、お蔭を持ちましてこのような国際シンポジウムを企画・実行し成功裏に終えることができたこと、紙面を借りて感謝申し上げます。昨年の「上海・バンコク訪問研究会」が契機となり、今回のシンポジウム開催へと昇華し、さらに来年はマレーシアを候補とした海外研究会の話が早々と飛び交っています。人の絆、交流の機会は着実に大きな連鎖を生み出そうとしています。このように、本学とASEAN諸国との産学連携は確実に浸透し、「強い関西大学」に少しは貢献できたかなと自負いたしております。

今回のシンポジウムが何らかの形で継続実施され、再び百周年記念会館前に複数の国旗が爽やかになびくことを今から期待し夢見つつペンを置きます。

**千里山北広場が完成
体育以外にも多目的に利用**

（実行委員長・化学生命工学部教授 田村 裕）

千里山中央体育館の東北側で整備が進められていた「千里山北広場」が完成、七月二十五日に関係者が出席して竣工式が行われた。

千里山キャンパス全体を構想した「千里山 丘の森キャンパス」

ス構想」に基づくキャンパス環境整備の一環として設置されたもので、平地面積は約七、二五〇平方メートル。人工芝を敷設した一一〇m×六六mの長方形のフィールドとなっている。

今後、正課体育はじめ課外活動施設として利用するとともに、学生の生活環境の快適さを追求したアメニティスペースとして多目的に利用される。また、既に実施している地元小学生たちの「一日体験入部」等の会場として、災害時には近隣住民の一時避難場所として提供するなど、社会貢献・地域貢献も企図している。

この場所は、自然をそのまま残した緑の丘陵であったため、フィールド以外には、コナラ、クスギなどの落葉樹、クスニキ、モチノキなどの常緑樹多数が植栽された。

『関西大学百二十年史』が完成

関西大学創立百二十年周年を記念して、『関西大学百二十年史』が刊行された。A4変型判、オールカラー、四一〇ページ、上製本。

「歴史編」と「現代編」の二部構成。「歴史編」は創立から百周年までを要約して叙述し、「現代編」は最近二十年間の関

西大学の足跡を、主題別に各部署の教職員が執筆している。

ほぼ全ページに写真を掲載しているのが特色で、教育研究環境と諸施設のめざましい充実や、学生・生徒の生き生きとした表情あふれる学校生活、創立百二十年記念式典など、発展を続ける母校のあゆみと併せて読むことができる。

「資料編」には、統計データと略年譜を収録。また、昨年発見された「関西大学法律学校規則」（明治十九年十月発行）全文の写真も掲載されている。

第2回 クラブ・アンクルージュフォーラムのご案内



関西大学文学部は、財団法人社会開発センター、株式会社アंकラーージュと共同で日本初のカレッジリンク型シニア住宅プロジェクトを推進しています。



頒布価格七千円（税込、送料別）。お問い合わせは関西大学年史編集室（TEL〇六―六三六八―一〇六二、FAX〇六―六三六八―一四二六）まで。

本プロジェクトの一環として来る十月十日（水）十三時より、ホテルオークラ神戸（神戸市中央区波止場町）にて、「第二回クラブ・アンクルージュフォーラム」を開催いたします。これは大好評だった五月の第一回に引き続いて開催するものです。五月の第一回では、脳トレプログラムの立役者で脳イメージング研究の第一人者である東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授をお招きし、脳のメカニズムと認知症予防策について基調講演いただきました。その後、芝井敬司本学副学長、社会開発研究セ

ンター村田裕之理事長、アंकラーージュ小中村政廣代表取締役がパネリストとなり、本学政策創造学部白石真澄教授のコーディネートのもとで、本事業に取り組み意義を論じ合いました。三百五十人定員の会場は立ち見が出るほどの大盛況でした。

第二回では第一回同様、川島隆太教授に基調講演をいただいた後、二〇〇八年四月開設予定のカレッジリンク型シニア住宅「クラブ・アンクルージュ御影」の詳細をご説明させていただきます。

カレッジリンク型シニア住宅とは、大学のキャンパス内あるいはキャンパスからそれほど離れていないところに立地し、大学と連携して運営するものになります。もともとアメリカで約



「クラブ・アンクルージュ御影」の物件情報はアंकラーージュホームページ（<http://www.encourage.co.jp/>）をご覧ください。

十年前に登場しましたが、日本ではこの「クラブ・アンクルージュ御影」が最初の事例となります。住宅の入居者は若い学生と一緒に、大学キャンパス内や住宅内でさまざまなクラスに参加することが出来ます。入居者たちは、明るく元気はつらつで、実年齢よりはるかに雰囲気若々しく、いきいきしています。また、入居後の要介護率も一般に比べ極めて低くなっています。

「クラブ・アンクルージュ御影」では、二〇〇八年四月の開設以降、関西大学で科目等履修生・聴講生・社会人学生として学ぶ「オンキャンパス・プログラム」と、シニア住宅内で催される「オンコミュニティ・プログラム」の両方に参加できます。また、開設に先立ち、本年六月十三日より関西大学千里山キャンパスにて、芸術、俳句、宗教など六つのテーマでプレコース春学期を開講いたしました。参加された方々は、大学のアカデミックな雰囲気での本格的な内容に大いに感激されました。このプレコースは十一月より秋学期を開講予定です。詳細は第二回フォーラムにてお知らせいたします。

フォーラムへの参加にご関心のある方は、九月二十八日十七

時までには(株)アンクラージュホームページのイベント申込ページよりお申込下さい。

「第2回クラブ・アンクラージュフォーラム」

主催 (株)アンクラージュ、関西大学、社会開発研究センター

日時 二〇〇七年十月十日(水) 13:00~16:10 (開場12:30)

場所 ホテルオークラ神戸 平安の間

兵庫県神戸市中央区波止場町二番一号 TEL〇七八―三三三―〇一一一(代表)

市営地下鉄「みなと元町」駅より徒歩五分

JR・阪神「元町」駅より徒歩十分

定員 三五〇人(原則60歳以上、申込み多数の場合は抽選)

参加費 無料

申込方法 九月二十八日十七時までに、アンクラージュホームページ(<http://www.encourage.co.jp>)

の「クラブ・アンクラージュ」イベント申込ページよりお申込下さい。

プログラム(予定)

開会挨拶 野田一夫(多摩大学名誉学長、アンクラージュ最高顧問)

基調講演 脳を知り認知症を予防する川島隆太(東北大学加齢医学研究所教授)

二十一世紀の住まい方「カレッジリンク型シニア住宅」川田裕之(社会開発研究センター理事長、東北大学特任教授、関西大学客員教授)

大学にとって「カレッジリンク型シニア住宅」に取り組む意義

芝井敬司(関西大学副学長)

「クラブ・アンクラージュ御影」のご紹介

五條市・王寺町で無料法律相談 生きた法律の学習と社会貢献

関西大学法律相談所(所長 千藤洋三法学部教授)は、九月一、二両日に、奈良県王寺町と五條市で市民のための無料法律相談を開催した。

昨年度の静岡県伊豆の国市、伊豆市での開催に続き、第四十九回目の夏期移動法律相談となる。

今回の移動法律相談には、千藤所長をはじめ、顧問として高森八四郎名誉教授、久保宏之教授、多治川卓郎教授、今野正規専任講師に参加していただき、OB弁護士、学生ら総勢三十五人で相談にあたった。

奈良県では、同県弁護士会の取り組みにより、各地での定期的な法律相談が実施されている。しかし、ゼロワン地域周辺では、依然としてリーガル・サービス

「クラブ・アンクラージュ」入会要綱の説明

開会挨拶 河田悌一(関西大学学長)

フォーラムに関する問い合わせは、クラブ・アンクラージュ

フォーラム事務局 TEL〇一二〇―五三―三三三二(平日

9:00~17:00)、eメールinfo@encourage.co.jp



すさが喜ばれた。

両会場での相談件数は合わせて十八件で、内容は親族相続問題が多く、金銭関係がそれに次ぐものであった。

また、今回も相談終了後の検討会のために多くの時間を確保し、教授やOBにご指導いただいた。このような検討会を設けることによって「学生が主体として相談にあたり、生きた法律を学ぶ」とともに社会に貢献する」という当法律相談所の理念を実現し得たといえる法律相談となった。

(移動法律相談委員長・法3 長岡正記)

学生チーム「漢舞」が 吹田まつりで大賞受賞

関西大学学生チーム「漢舞」は、各地の祭りや地域のイベントに参加したり、踊りの講習会を行ったりと、踊りを通してより多くの人に元気と笑顔を与えたいと願い、日々活動しています。

今回、私たちが参加させて頂いた「吹田まつり」は、大学の地元吹田市で七月末に行われる地域の祭りで、私たちが踊らせて頂いた「好いたおどり」の企画を立ち上げたのが、チームの先輩であることもあり、とても



思い入れがある祭りです。

また、市内各地で行われた講習会や当日の踊りのレクチャーを担当させて頂いたり、ボランティアスタッフをさせて頂いたりしたことで、さらに愛着が湧きました。そんな吹田まつりで、大賞という思いがけないプレゼントを頂き、応援して下さいました。皆さんには感謝の気持ちで一杯です。

これからも、このような地域の方々との繋がりを大事にし、地域に愛されるチームづくりを目指して頑張っていきたいと考えています。

(事務局長 武森 望)

矢野が世界競泳8百自由形で銀浦部はリレー日本チームで5位
8月21日から24日、千葉県国



矢野友理江選手

際総合水泳場で開催された世界競泳2007インジャパンで、水上競技部の矢野友理江(文1)は女子800m自由形で8分27秒62のタイムを出し銀メダルを獲得した。

また、浦部紀衣(文3)は、女子400mフリーリレー、女子800mフリーリレーの日本チームメンバーとして出場、チームは両種目とも5位に入賞した。

なお、浦部は、タイ・バンコ



浦部紀衣選手

クで開かれた第24回ユニバーシアード競技大会では、8月13日に行われた女子4x100mメドレーリレーに日本チームメンバーとして出場、優勝を飾った。

第24回ユニバ・バンコク大会 吉村出場のサッカーは5位

サッカー部・吉村修平(文4)は、第24回ユニバーシアード競技大会(タイ・バンコク)に日本代表チームのメンバーとして出場、チームは5位に入賞した。

第8回アジア空手道選手権 西村が女子48kg級で3位



西村有紗選手

第8回アジア空手道選手権大会が、8月24日から26日にマレーシア・セレンバン市で開催され、日本代表として出場した空手道部の西村有紗(文2)は女子48kg級で3位に入賞した。

自動車部・山本が全日で優勝 大畑は女子個人の部で優勝

8月1日から7日、三井オー



トスポートランドで行われた19年度全日本学生ダートトライアル選手権大会で、自動車の山本信彦(社4)が男子個人の部で優勝、男子団体では2位に入った。

また同24日、26日に鈴鹿サーキットで行われた全日本学生ジムカーナ選手権大会で、大畑恵里奈(工4)が女子個人の部で優勝を飾った。

ヨットの関西スナイプ級で 牟田口・福山組が優勝飾る

8月11・12日に新西宮ヨットハーバーで行われた関西スナイプ級選手権大会で、ヨット部の牟田口洸介(社3)・福山数也(法2)組が優勝、木山典彦(経2)・相江和幸(経2)組は3位に入賞した。

また、牟田口・福山組は、同18・19日に行われた関西学生ヨ

ット個人選手権大会・スナイプ級でも優勝を飾った。

ハンドボール部、西日本で 38年ぶり3回目の優勝飾る



ハンドボール部は、8月12日に愛知県名東スポーツセンターで行われた西日本学生選手権大会で38年ぶり3度目の優勝を飾った。

19年度スポーツサミット 奥島早稲田大前総長が講演

5月7日、中ノ島のリーガロイヤルホテルで、多数の来賓の出席を賜り、本学法人・教学・体育OB会による関西大学スポーツサミットが催された。

第一部は学歌斉唱、河田悌一学長の挨拶に続いて、好評を博した昨年と同じく早稲田大学前総長 奥島孝康先生に「統大

学スポーツの意義と強化策」というテーマで講演いただいた。奥島先生は「スポーツは学問であり、スポーツを強化することは大学の務めである。大学スポーツは大学本来の目的とすら言える。

愛校心、自己犠牲の精神を育て、誇りをもつことの大切さを教えるのはスポーツである。大学の目標とは、全員を学者にすることではなく、社会というみこしを担ぎ、汗をかくことを知っている人間を育てることである。

大学スポーツの強化策としては、教職員の意識改革、校友会の支援、施設・指導者・選手層の充実が不可欠である」と述べられた。

第二部は森本靖一郎理事長から「強い関大を作ろう」との言葉をいただき、小坂道一体育OB会長の挨拶のあと、しばし歓談のひと時をもった。最後に芝井敬司副学長より閉会の挨拶をいただき、逍遙歌を合唱し散会した。

体育会各部OB会では、現役へのさらなる支援を一同決意していますので、皆様方により一層応援していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

(自動車部OB 山本修平)

関西大学の就職状況について

キャリアセンター所長(システム理工学部教授) 北嶋 弘一

関西大学では平成十六年度より従来の「就職部」から「キャリアセンター」に改称・改組しています。本学の多くの卒業生が社会で活躍されている理由は、教育理念である「学の実化」を実践できる品格と活力のある人材育成を目標とした教育にあると言えます。とくに、キャリア形成支援を視座に据えた教育プログラムは、就職に強い関西大学としての学風を高め、21世紀に求められる学生の全人的育成を目指したものであり、それらの取り組みについてご紹介します。



多様な就職支援プログラムによるバックアップ体制

本学における取り組みは、「総合大学における標準型キャリア教育の展開(K-CEP)」は、

文部科学省の平成十八年度現代GP(社会的要請の強い政策課題に対応した大学における優れた取り組みを選定するもの)に選定され、高い評価を受けています。すなわち、「大学の前に、大学とともに、大学の後に」の

三つのフェーズでキャリア教育の流れを構築している点に大きな特色があります。

「大学の前」については、平成十七年度より大阪府教育委員会と連携して小中高教員対象のキャリア教育研修を実施し、キャリア教育に関する認識を持った教員を少しでも増やして将来の社会人育成の視点を家庭教育にまで広げてもらうことを期待しています。

「大学とともに」については、学生の入学後のキャリア形成支援・育成プログラムを展開しています。かつては三年次生以上を対象とする就職支援が中心であったものを一年次生からを対象とする「キャリアデザイン(将来設計)プログラム」を用意し

ています。まず、新入生全員に「キャリアデザインブック」を配布して学生個々の将来設計に関する基本的情報の提供を行うとともに、一、二年次生対象の各種「キャリアプランニングセミナー」を実施し、学生のキャリア意識への働きかけを行っています。また、一年次秋学期から二年次秋学期にかけて「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」のキャリア教育科目を三科目開講して将来の働き方や生き方を考える機会を体系的に提供しています。三年次生には、夏休みを中心に企業や団体等での就業体験を支援するインターンシップ・プログラムが用意され、毎年七百人を超える学生が参加して事前・事後の研修を含めて実施、

各学部および大学院において単位認定を行っています。さらに、「キャリアデザインルーム(進路支援室)」では資格を持つキャリアアドバイザーによる学生の将来に対する様々な悩みや計画を相談できる体制を整え、懇切なアドバイスを行っています。

「大学の後」については、平成十七年から「卒業生就業支援室」を設置するとともに(株)パソナのグループ企業である(株)関西雇用創出機構と業務提携を行い、卒業生へのカウンセリング、求人情報の提供、

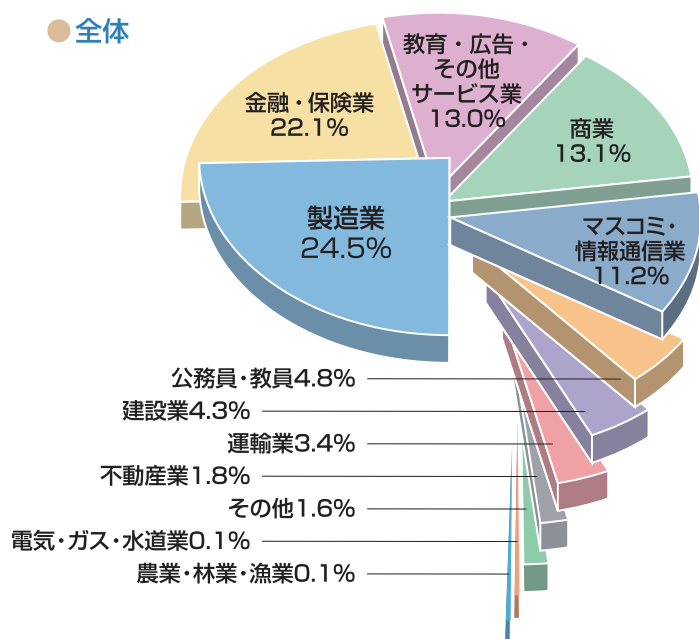
企業紹介、就業マッチングやアドバイス等就業支援をシステムチックに行っています。

平成十八年度就職状況の実績

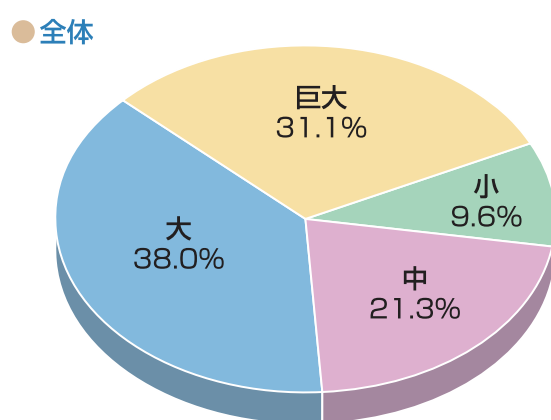
平成十八年度の本学学生(学部第一部)の就職率は、九七・五%で前年度より〇・一ポイント上昇しており、全国の大学調査結果(文部科学省・厚生労働省)九六・三%をも上回る結果



業種別就職状況



規模別就職状況



(注 1) 上記の数値には、公務員・教員 197 名は含まない。

(注 2) 2006 年度。規模別分類は従業員区分により次のとおり。

● 巨大企業 = 従業員 3,000 人以上 ● 大企業 = 従業員 500 人～2,999 人
● 中企業 = 従業員 100 人～499 人 ● 小企業 = 従業員 99 人以下

となりました。また、女子学生の就職率は九七・六％で前年度を〇・九ポイント上回り、男子学生の九七・四％を〇・二ポイント上回る開学以来の男女逆転現象を示しています。

就職決定者の規模別状況では、巨大・大企業への就職率は合計で六九・一％、中企業は二一・三％、小企業は九・六％となり、前年度と比較して巨大・大企業は四・〇ポイント上昇し、中企業は三・一ポイント、小企業は〇・九ポイント減少しました。

業種別状況では、金融・保険業二二・一％（前年度比三・七ポイント増）、運輸業三・四％（同比一・〇ポイント増）が増

加し、製造業二四・五％（同比一・八ポイント減）、商業二三・一％（同比一・五ポイント減）、教育・広告・その他サービス業一三・〇％（同比二・三ポイント減）、マスコミ・情報通信業一一・二％（同比〇・四ポイント減）などが減少しました。

このように平成十八年度の雇用環境は、不良債権処理が終焉したことによる金融業界における大幅な採用増や鉄鋼を中心とした基幹産業とともに自動車関連産業などの製造業が好調になっていることから、日本経済全体が活性化して「バブル期を上

回る求人意欲」と言われる状況であり、学生にとっては非常に明るい就職環境となりました。

平成十八年度の公務員合格者数は一七六人で前年度より一六人上回りました。これは、公務員採用試験説明会を春・秋に実施して受験の奨励を行うとともにエクステンション・リードセンターにおける試験対策講座の充実を図った結果によるものです。また、キャリアセンター主催の教員採用試験対策講座受講生の教員合格者は、前年度より四人上回る二一人となり、既卒者を含めると延べ六九人の合格者を出しています。

平成十九年度就職状況の見通し

日本経済新聞社が本年三月にまとめた企業の採用計画調査結果では、主要企業の新卒採用予定数は前年度比で一三・五％増の四年連続二ケ台の増加で、幅広い業種で採用を増す動きが

本学がこのような高い就職率を維持できている要因のひとつに、キャリアセンター主催の企業研究会や合同企業研究会の開催が挙げられ、延べ一千社を超える企業を本学に招くという関西大学ならではの行事で、学生にとっては大きな就職支援行事であると言えます。

明らかに、自動車や電機などの製造業が高い伸びを保つだけでなく、非製造業においても運輸、通信、電力などが大幅な採用増を見込み、二〇〇七年問題に加えて人手不足感が経済全体に浸透しつつあると報告しています。このことを裏付けるように、メガバンクや損保をはじめとする金融・保険業や電機・自動車関連の製造業などの採用意欲がさらに高まり、バブル期を上回る状況にあると言えます。

このように、学生にとって就職環境は前年度よりますます好転を見せていますが、すべての学生がこの恩恵を被っているわけではありません。複数の企業から内々定を得る学生がいる一方で、何社エントリーしても良い結果の得られない学生がいるという二極化がますます顕著になりつつあります。

民間企業・公務員を問わず、学生の個性と能力が厳しく問われる時代になっており、「量より質」の採用を行う方針を多くの企業は堅持しており、今後も質の高い学生を求めることに変わりはないと思われます。本学キャリアセンターでは、学生にしっかりとキャリアデザインを描いて充実した学生生活が送れるようサポートしております。

まよと

校友録

Kandai Kiratto Part 8

結局、歌う魅力にはかなわなかったようで、ピアノは高校の時に止めてしまします。
関大時代は『ひびき』と『リーダーランツ』をかけもちし、アルトを担当。



ライブ終了後のひととき



山里料理レストラン「山燈花」

ア ジサイが満開のよく晴れた六月の半ば。南河内郡千早赤阪村で行われた関西での恒例ライブに伺い、取材をさせていただきました。

会場となったのは、ギャラリーを併設した山里料理のレストラン。緑深い山道をどんどん登っていくと出会う、ひっそりと佇む山小屋風の建物『山燈花』です。

お客さんは、山や川のさまざまな食材を用いた山里料理に舌鼓を打ちながら、西川さんの歌声やバンドメンバーの演奏にしばし耳を傾け、ゆったりした時間を楽しんでいました。

「当時、家が大和高田だったので遠かったこともありましたが、昼休みの練習時間に間に合うように学校に行って、お昼を食べた後、おもむろにエンジンをかけて授業に出てましたね。もう、ダメダメ学生だったんじゃないでしょうか」と笑います。因みに西川さんの旧姓は葛本さん。本文を読まれて、思い当たる方がいらっしゃるかもしれません。

授業はサボってばかりだったという西川さんですが、一夜漬けだった試験は追試もなく、寝ずに書いたという卒論はかなり苦しんだものの無事提出し、しつかり四年で卒業しました。

その後は船会社に入社。二年間勤め、社内でも知合った今のご主人と結婚し東京へ。三人の男の子にも恵

就職・結婚・出産・育児。 それらを経て再び歌の世界へ

小 学生の頃から歌を覚えるために本屋で歌集を買うほど、歌が大好きだった西川さん。八歳でピアノを習い始めますが、ピアノの練習よりもっぱら歌ばかり歌っていたとか。中学ではコーラス部で活動する傍ら、ロックやポップスに夢中。当時好きだったビートルズのレコードを弟や妹とお小遣いを出し合って買い、三人で聴いては覚え、口ずさんでいました。



今回のツアーメンバー



まれ専業主婦に。とは言うものの、ご主人が独立して会社を設立させたことに伴い、新しい会社のお手伝いをするようになります。独立して十六年経った今でも週に二、三日は船会社の代理業をしているご主人の会社に通っています。

西川さんがジャズに出会ったのは三人の息子さんたちの手が離れ、自分の時間を持つことができるようになった頃。青山にできた知人のジャズ教室の生徒集めに協力し、自分も通い始めたことがきっかけでした。四十歳を過ぎ、歌うことから離れて十八年が経っていました。

ブランクを乗り越え ライブハウスで歌うボーカリストに

混

声合唱団での経験は長かった西川さんですがジャズは初めて。実は自分が歌うことになるまで聞いたこともなかったそうです。最初の頃はライブを聞きに行ったり、プロや経験豊富な人たちとジャムセッションできるライブハウスに通い、先輩たちとセッションしては叱られ、泣き泣き鍛えられました。

「セッションしても最初は毎回落ち込んでばかり。他に楽しく歌えるジャンルがたくさんあるんだし、わざ

わざわざ難しいジャズをやる必要はないとやめようとも考えました。でも、はまってしまったんでしょね、今まで続けてきましたから」。

うまく歌えればそれで良しとする先生が多い中、現在もレッスンを受けている吉野美知子先生は発音はもろんのこと、リズムやスイング、アレンジなどジャズの本質でもあるインプロヴァイゼーションと言われる即興性についてもみっちり指導してくれるそうです。

人前で歌い始めて既に十一年が経とうとしている西川さんですが、ジャズの難しさについてこう語ります。

「ジャズはふつう歌い手が伴奏に合わせて歌うのとはちょっと違うんです。テーマに合わせて自分なりのアレンジをし、楽器の一部として溶け込まないといけません。つまり、同じことをやらないのがジャズ。でも、どうしても似たような感じになってしまう。毎回毎回、アレンジを変えるのはとても難しいですね」。

西川さんは特にノリであるスイングを大切にしたいと思う反面、なかなか思うようにできないとも言います。ライブハウスではお客さんの反応に左右されることも少なくないとか。



情感豊かに熱唱する西川さん

ジャズライブは飲んだり食べたり、おしゃべりをしたり、それぞれが楽しみながら聴くもの。ソロの後は拍手や「イエーイ！」というかけ声をかけるのも良いそうです。

「タイミングよく声をかけてもらったり、手拍子をして自然に身体を揺らせてくれると嬉しいですね。一緒に楽しんでもらえるのが一番。お客さんのノリからもらうパワーが、演者にとってもよい刺激になります。また、その日のテーマに添っていかにより格好良く歌えるかというのが、私にとっての醍醐味でもあります」。

若いミュージシャンが活動できる多目的スペースを運営したい

現

在、西川さんは月に一度のライブ活動と女性三人のコーラスグループ『Busy Bs』やクラシックを中心にした『Melody』というグループで活動しています。活動拠点はお住まいのある関東が中心ですが、ジャズライブに関しては冒頭で紹介した『山燈花』での恒例ライブは今年で四回目を迎え、奈良にあるレストランでのライブは八年目を迎えるとか。

「関東方面では校友支部会にバンドを呼んでもらうこともありますね。都内や近隣での活動をマイペースでやっています」。

西川さんは四十七歳の誕生日にご主人から地下スタジオ付きの家をプレゼントされました。早速ドラムやベース、ギターを揃えたという地下スタジオでは、ミュージシャン仲間が遊びに来ればセッションしたり、リハーサルをやったり、お正月には新年会をしたりと大活躍。また、ギターをやっている息子さんにも感謝されたと笑います。こんなことから西川さんの夢は、ライブもできてカフェやギヤラリースペースを併設した多目的スペースを運営すること。

「ジャズのライブ活動の場は、実は多くないんです。こういったスペースを提供することで若いミュージシャンたちの活動の場が少しでも広がればいいなと。まだまだ計画中ですけれど」。

関東から関西までマイペースにライブを続けるジャズボーカリスト

西川 慶子さん

プロフィール

西川 慶子（にしかわ けいこ）さん
ジャズボーカリスト

一九七二年 文学部 英文学科卒業後、船会社に就職し二年勤めて結婚。歌うことが好きで中学から大学まで混声合唱団でアルトを歌う。結婚後、十八年のブランクを経てジャズに出会う。現在は月に二度、師匠である吉野美知子氏のレッスンを受けながら月一回程度のジャズライブと二つのコーラスグループ『Busy Bs（ビジービーズ）』『Melody（メロディー）』でポップス、オールディーズ、ゴスペル、クラシックまで幅広いジャンルをこなす。関西でのジャズライブツアーも今年で八年目に。

「強い関大」を市民にアピール 行き交う船と「大阪締め」で交歓 今年も天神祭・船渡御に 「関大丸」を就航

昨年度、校友会の創立百二十年記念事業として、天神祭の船渡御に奉拝船「関大丸」を就航し、新聞等メディアにも取り上げられるなど、多くの話題を呼んだ。

校友会では、平成十九年度もこれを継続事業として新たに企画し、七月二十五日の天神祭に奉拝船「関大丸」を就航、遠く東海や九州など各地から参加の校友と、大学・教育後援会関係



者など百八十人が乗り込んだ。今年も晴天に恵まれ、真夏の炎暑のなか、参加者は次々に受付を済ませ、「関大丸」に乗船。早速、「校章」と「関大」と文字の入った法被を着込み、思い思いに祭の雰囲気を楽しむながら出航を待った。

出航前のセレモニーでは、大阪大学及び神戸大学とエール交換（法被の交換）が行われ、応援団指揮のもと学歌を斉唱。続いて一軸浩幸校友会長、森本靖一郎理事長、河田悌一学長から歓迎の挨拶があり、さらに、応援団の演舞演奏が繰り広げられ、祭気分はいやが上にも高まった。

夕陽が沈みはじめ、両舷の「関西大学校友会」「強い関大」と書かれた電飾看板に灯がともされて、いよいよ出航。行き交う様々な船の説明を受けつつ、参加者全員で「大阪締め」を打ち交わした。

川面を染める無数の篝火や提灯、また船上から見上げる奉納花火に酔いしれ、最後は肩を組んで逍遙歌を合唱し、二時間あまり、船上から天神祭のクライマックス・船渡御を堪能した。



初のスケート講習会開催 家族揃って滑走楽しむ

校友会では、八月二十六日（日）午前十時から大学の協力を得て高槻キャンパス・関西大学アイスアリーナで、初のスケート講習会・見学会を開催した。

今回は初の催しでもあり、スケート講習会への参加は経験者のみに限定したため約四十人と少なかったが、参加者は、アイススケート部・アイスホッケー部員の指導のもと夫婦と子供など、家族揃ってスケートを楽しむ人が多かった。

約三十年ぶりにスケート靴を履いた伊藤晃充さん（昭41学新）は「これが最後と思って参加した。氷の状態は最高で本当に滑りやすいリンク。それにも増して母校のアイスアリーナで滑れるというのは特別の感慨があり、いい思い出になった」と語っていた。また、親子三代で参加（祖母は見学）した湯本映太郎君（8歳）・志築さん（3歳）の兄妹は、大阪市内のスケート教室に通っており、「関大の教室に入りましたけど満員でだめだった。有名なアイススケート部のお姉さんに会えるだけでも嬉しかったのに、親切に教えて貰ってメチャ感激」と目を輝かせていた。



九十分の講習会が終わるころには、見学のみの参加者約七十人も来場。観客席に移動した参加者に、一軸浩幸校友会長が歓迎の挨拶。いよいよ模範演技が始まり、金彩華選手（商1）、北村明子選手（文1）、澤田亜紀選手（文1）が、日頃の練習

の成果を示す華麗な演技を次々に披露、観客席からは大きな拍手が鳴りやまなかった。

校友ネットワークの構築に向けて パートⅡ パネルディスカッションで「組織の財政」につき論議

平成十九年度全国組織代表者会議は、七月七日午後一時半から百周年記念会館で開催され、全国から九十三団体二百六人の組織のリーダーが出席。本年は、更なる組織の飛躍発展を期して、『校友ネットワークの構築に向けて パートⅡ』をメインテーマに、特に各組織の財政について討議を深めた。

寺内組織担当副会長の開会挨拶、学歌斉唱に続いて、一軸会長は「校友会の基礎は、各組織の活性化である。昨年は羽曳野、西淀川、阿倍野などで再建総会が開かれ、今年も大阪市内支部連合会の結成や和歌山県橋本支部の新設、西支部の復活がなされた。組織が一段と活性化してきていると感じている。一方、

更に充実した支部総会案内助成費をはじめ各組織への様々な支援策や本部の事業活動などについて詳細に説明を行った。

第二部では、「組織の財政を考える」をテーマに、山田組織部長をコーディネーターにパネルディスカッションを開催。本部組織部より大東恭治氏と渡邊泰之氏、地域支部からは、淀川支部・塚田邦彦支部長、豊中支部・横山正秀幹事長、八尾支部・横山享史前支部長、伊丹支部・加藤拓支部長がパネラーとして登壇。まず山田部長が、事前に各組織から提供いただいた決算書をもとに作成した「各組織の財政状況一覧」を参考に、その分析結果と各組織の活動事例を報告した。

また、増員対策については、「総会を土・日の昼間に開催したところ、女性の参加が増えた。若手の会を作り、独自の活動をしてもらっている」、「地区の祭に出店し、校友に案内状を送る。券持参の校友には缶ビールを一本贈呈している。毎年出店していると校友だけでなく、地域住民にも知られてきて関大の

PRにもなっている」などの意見が出された。

これに対して会場からは、「組織は本部からどういうことを期待されているのか、折に触れて明確にし、各組織が共通の認識を持って活動すべきだと思う」、「関西大学OBの集まりとして、文化の香りのする支部活動を心がけている。また、参加者については一人が一人を連れてくれば二人になる、を基本スタンスとして活動している」、「強い関大↓強い校友会↓強い校友会↓強い校友会↓強い校友会↓強い関大の流れにしていかなければならないと思う。そのためには財政のみならず、年会費を取っている組織の数、会報を出している組織の数、総会の出席者数など各組織の基礎データをまとめ、活動資料として提供してほしい」、「地方の支部にはいろんな悩みがある。旅費の一部負担等も考慮して遠隔地支部の会議を開いてほしい」などの意見や要望が出され、約一時間あまりに亘って熱心な討論が行われた。

終了後、懇親パーティが開かれ、参加者はパネルディスカッションの雰囲気そのままに、活発な意見交換を繰り広げた。



母校は創立百二十一年目に入り、大きく飛躍している。母校を支えるのは校友の責任であると考えているので、ご支援をお願いしたい」と挨拶した。

森本理事長、河田学長の来賓挨拶の後、大東組織副部長が、新し

く改訂したハンドブック「組織と本部のネットワーク」に基づき、本年度から



てもらうと次ももらえる場合が多い」、「多数の校友が在住する支部では、経費の問題で全員には総会案内状を送送できず、絞り込まざるを得ない。案内状發送者には振込用紙を同封して活動通信費をお願いしている」、「財政上、単独支部ではできない行事を近隣支部と合同で行っている。結果、他支部会員との交流も促進された」などの意見が出された。

平成19年度校友総会

10月21日(日)にBIGホール二〇〇で開催

政策創造学部 白石真澄教授が記念講演

平成十九年度校友総会は、十月二十一日の日曜日午後一時から千里山キャンパスで開催される。今年は「卒業年次・学部の枠を超えて、校友なら誰でも自由に参加できる」という従来の

総会構想に戻り、総会・記念講演・懇親会の三部構成で開催され、第一部総会と第二部記念講演の会場はBIGホール一〇〇で、懇親会は百周年記念会館。会費は無料。

当日日程は、本号1ページに掲載のとおりだが、第二部記念講演では、本年四月に開設された政策創造学部の教授に就任された校友の白石真澄先生(62院修建)に、「教育再生会議あれ

これ」のテーマで講演いただくことになった。安倍内閣の教育再生会議委員として活躍の先生に、会議でのエピソード等を交えながら提言内容を詳しくお話いただく予定で、有意義な講演となるものと期待される。

また、懇親会のアトラクションでは、スプリングフェスティバルでもお馴染みの応援団と漢舞によるダイナミックな演舞・演奏が行われることになっ

ている。

なお、駐車場はないので電車で来学下さい(阪急電車「関大前」駅下車)



白石真澄教授

紅葉の秋の一日を、歴史と子午線と魚の町・明石で満喫してみませんか。

校友会では、今年第三十五回を迎える事業部見学会を、十一月十日(土)に「明石城(喜春城)と時の道を訪ねて」と題して左記要項にて開催します。

午前中は、現地ボランティアガイドさんの案内により、国の重要文化財に指定されている異櫓・坤櫓や堅牢な石垣、堀などが残る明石城跡・明石公園から、歌聖・柿本人麻呂を祀る柿本神社など文学と歴史のロマンに溢れた史跡の数々を見学。子午線が通る町・明石の象徴的施設である明石市立天文学館で、時と宇宙の不思議をお楽しみいただきます。

昼食会場の人丸花壇では、地元明石関大クラブ及び参加者同士の昼食交歓会を開催。午後は「うおんな」の愛称で知られ、蛸や鯛など鮮魚をはじめ練り製品・干物の店が百軒以上並ぶ魚の棚商店街を

散策します。

明石関大クラブの鈴木一雄会長も「会員にとっても地元歴史再認識の好機です。また、これを契機に当クラブの更なる活性化をとの教示と受取り、心待ちしています」と歓迎の言葉を寄せています。家族等の同伴も可です。校友の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

第35回事業部見学会

明石城と時の道を訪ねて

11月10日(土)に開催

▼開催日 平成19年11月10日(土)

▼集合 午前9時50分・明石公園正面入口(中部幾次郎翁銅像前) ⅡJR明石

駅から西へ約二百m。交通費は各自負担(JR大阪駅から新快速で約40分、快速で約50分。片道八九〇円)

▼行程 (A) 10時出発→明石公園・明石城跡→明石神社→本松寺→月照寺→

柿本神社→11時30分天文学館12時15分

↓12時30分人丸花壇(昼食交歓会) 14時

〒五六四一八六八〇 吹田市山手町三一三五・関西大学校友会事務局(電話〇六―六三六八―〇〇四四、FAX〇六一六三八〇―八四七六、

URL <http://www.kandai-koyukai.com/>

等があるため、明石公園をゆっくり見学の後、なるべく平坦な道を通り、長寿院を経て11時30分天文学館で合流の(B)コースも設けています。申込み時に指定下さい。

▼参加費

四千元(同伴者・子供も同額)

▼募集定員 先着百二十人(家族等同伴可) 最終10月22日(月)まで。

▼参加申込み・問い合わせ先 参加希望の方は、氏名・住所・電話番号・卒業年

学部・参加コースを記入の上、左記まで郵送かFAXで。なお、校友会ホームページ上からeメールで申し込むこともできます。



オース! ごきげんさん。

連載 19

た。このた
め、若い頃
からいつか
は両国の若
者たちの交
流の手助け
をしたいと
いう気持ち
を持ってい
ました。
仕事を抱
えながら、
他の活動を
始めるのは
なかなかで
きないもの
です。しか
し、NPO
法人(特定



研修生も輪に加わった日系社会恒例の盆踊り大会

あるいは日本国内でブラ
ジル文化の普及に関する
事業を行い、ブラジルの
日系社会及びブラジル社
会の発展ならびに両国間
の国際協力、親善交流に
寄与することを目的とし
ています。

頭が固くなりつつあります。これに対し、
ブラジルで暮らした若者たちは、柔軟性
があり、発想も豊かで、帰国間際になっ
た彼らから、いろいろなボランティアの
支援事業やプロジェクトが持ち込まれる
ようになりました。
成長した彼らの話を聞きながら、こう
した若者たちが中心になってチャレンジ・

NPOチャレンジ・ブラジルに託す夢
学生時代に休学してブラジルで生活し
たことが、人生の大きな転機になりまし



サンパウロ近郊で花卉栽培に励んだ研修生と仕事仲間

非営利活動法人)が比較的簡単に取得で
きることを知り、同じ思いを持つ
仲間に出会って、設立したのが二〇〇三
年でした。名称は、ブラジルに挑戦しよ
うとする人たちがメインの対象となるの
で、「NPOチャレンジ・ブラジル」と
名付けました。アニメ・ドラえもん「ど
こでもドア」のように、自分の考えた場
所に自由に行き来できるよ
うに支援する組織にしたい
と考えました。

設立して四年間で延べ約五十人の若者
を日本から送り出しました。若者たちは
自費でブラジルに渡航します。査証の関
係から最大でも二年間が限度で、一年間
程度滞在する人が中心です。現在も十二
人がアマゾンや東北伯、サンパウロなど
で思い思いの生活を送っています。
日本から飛び出す若者たちは、昔も今
も同じで、良く言えば個性が強く、悪く
言えば協調性がありません。自分の娘や息子と同世代
の二十代の若者たちと接してい
て感じるのは、わがままで礼儀
をわきまえず、常識がなさ過ぎ
るということです。思わず、「今
の若者は…」と愚痴が出てしま
います。そんな時、「お世話を
する」という視点ではなく、「一
緒に活動する」という目線に立
つことを心がけます。また、自
らを振り返り、「若い頃は誰し
も同じなんだ」と言い聞かせる
ことにしています。

21世紀の大国ブラジル にかかわって

〈下〉

鈴木雅夫

チャレンジ・ブラジルはまだ
まだヨチヨチ歩きで、私をはじ
め仲間たちは五十代。そろそろ
頭が固くなりつつあります。これに対し、
ブラジルで暮らした若者たちは、柔軟性
があり、発想も豊かで、帰国間際になっ
た彼らから、いろいろなボランティアの
支援事業やプロジェクトが持ち込まれる
ようになりました。

鈴木(旧姓:泉)雅夫
(すずき・まさお)

1950年兵庫県伊丹市生まれ。
70年社会学部入学。73年に1年
間休学し、日本学生海外移住連盟
第14次南米派遣団員としてサン
パウロにあるサンパウロ新聞社で
実習。75年卒業後、サンパウロ新
聞東京支社に入社。東京支社長を
経て、現在、サンパウロ本社で編
集局長。



日本語学校で研修生が指導した運動会

ブラジルを運営する時代がすぐそこに来
ていることを実感しています。彼らが中
心になり、我々「オヤジ」がサポートす
る体制を作りながら、二十世紀になし得
なかった両国の交流を実現したいと考え
ています。

北から 南から

和歌山・橋本支部が誕生 初代支部長に浅井徹氏が就任

較的多い。

五月二十七日、和歌山県橋本支部の設立総会が橋本市教育文化会館で開催され、和歌山県唯一の関大校友会が産声をあげた。橋本市は人口約六万八千人の小都市で紀州へら竿やパイル織物の生産、また柿の産地として大変有名な街である。関大卒業生や在校生は人口の約1%である六百六十余人が在住しており比較的多い。

総会では、校友会本部から一軸会長、加藤総務副部長はじめ大学から安部副学長、河内長野支部から峰副支部長、藤河内長野副市長を来賓としてお招きし、祝辞や激励のお言葉を頂戴した後、議題に入り初代会長として浅井徹氏が就任した。

懇親会では、河内長野からこの日のために来てくださった若者達のプラスバンドで盛大に幕

をあげ、来賓として木下橋本市長から校友会設立にあたり祝辞をいただいた。その後、歓談となり皆、目を輝かせながら自分たちの学生の頃の話しをしたり、今後の校友会活動について語りあったりと時間はあつという間に過ぎ去った。

最後は植島氏の号令で、皆肩を組んで学歌や逍遙歌を大合唱し会員の団結を誓った。こうして、支部設立総会は大成功で幕を閉じた。



橋本支部設立総会

橋本支部では、今後さらなる会員の確保を目指し関大バスツアーなど支部組織を広げていく活動をどんどん行っていくとともに、和歌山県下校友会のフロンティアとしても様々な活動を行って行きたいと考えている。

最後になりましたが、支部設立にあたり校友会本部とのパイプ役として、また相談役として河内長野支部様には多大なる尽力を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。(三浦康広) (橋本市役所企画部長・吉田長司)〇七三六―三三―一一二

田中先輩が車椅子で出席 参加者に喜びと感動

徳島支部(桑原正司支部長)は、七月二十八日に阿波観光ホテルで支部総会を開催した。本部から古川好男副会長、高知・香川・愛媛各支部から岡内紀雄、川北文雄、小泉勇治郎の三支部長、東予千里会から山岡陸男副会長を来賓として迎え、支部校友四十二人、現役学生二人が参加した。

総会議事に先立ち、山田一夫氏(昭45法)「阪神淡路大震災被災者としての経済記者人生」、金澤憲治氏(昭44法)「社会保険労務士としての第二の人生」



徳島支部総会

の卓話二題に耳を傾けた。

会議では、山田仁副支部長が開会を宣し、桑原支部長の挨拶の後、古川副会長から母校の近況等お話をいただいた。引き続き支部長を議長に議事を進め、前年度事業報告及び決算報告を行う。また、昨年より開設された徳島支部ホームページ充実のため真鍋定信副支部長が参加者に協力を依頼した。

最後に、阿波おどりに参加する関西大学連・連長太田匡訓君(文3)に、恒例により支部から寸志を贈呈した。そして、谷口右也副支部長が会議を締め括った。その後、記念撮影。

引き続き懇親会会場へ席を移し、来賓からのお言葉をいただき、成岡昭二事務局長代行の乾杯で開宴、島日出男バンドの生

印刷にまごころ。



わたしたちは70周年

これまでも、これから。

わたしたち東洋紙業は、おかげさまで創業70周年を迎えます。70年間、印刷という仕事で、皆様の信頼にお応えしてきました。まごころを込めて本当にご満足いただける製品を皆様にお届けする。この姿勢は70周年の節目を迎えても変わることはありません。これまでも、そしてこれからも。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

〈各地支部だより〉



神奈川支部総会

**新支部長に重延義樹氏
北川環境政務官が講演**
神奈川支部（谷口正明支部長）
新春総会は、二月二十七日に新
横浜フジビューホテルで六十八
人の校友が参加し開催された。
来賓の古川好男校友会副会長
の挨拶に続き、国の目指すべき
方向性について、環境大臣政務

演奏を聞きながら、楽しいひと
時を過ごした。特に、田中潔先
輩（昭17専商）が車椅子で総会・
懇親会ともにご出席くださった
ことは、参加者全員に大きな喜
びと感動を与えた。
最後に支部の発展を祈念し、
輪になり肩を組み逍遙歌を合唱
閉宴した。
（貝出宏文）
（貝出宏文）〇八八三―二四―
〇三九六

**初参加十四人、百十人が参加
「バイエルン」で呑み語る**
京都支部（牧村史朗支部長）
の総会が六月三十日、京都国際
ホテルで行われた。
今年は一軸浩幸校友会長をは
じめ十五人の来賓を迎え、百十
一人の会員が旧交をあたためた

官の北川知克氏が講演された。
この総会では、十二年の長き
に亘り支部の発展に尽力された
谷口正明氏、支部長を勇退し
最高顧問に就任されることか
了承され、全会一致で重延義樹氏
が新支部長に選出された。支部
長代行、四副支部長、アドバイザー・スタッフの体制で新た
なスタートを切ることになった。
第二部懇親会では、埼玉支部
役員の西川慶子さん率いるバン
ドがライブ演奏を行い、華やか
に幕開け。来賓である東京セン
ター長石山博康氏、支部重鎮の
平岡昭夫氏も自慢の喉を披露さ
れた。参加者も生演奏に合わせ
歌い、語り、支部一体となって
大いに盛り上がりを見せた。元
応援団団長の久澤弘忠氏のエー
ルのもと、肩を組み逍遙歌を歌
い、二八の夢に酔ってお開きと
なった。
（広報部長 田中潤一）
（ダイケイ内）〇五〇―一〇六
三―九六六〇

結びは、会員の有志が提供す
る賞品をビンゴゲームで分け合
う。今回は、マス目に書くのは
数字ではなく、関西大学からイ
メージする言葉をそれぞれに埋
めて楽しんだ。ここで多く使わ
れた言葉を分析し、今度は会報
記事の企画へと広がりを持たせ
てゆく。
楽しく有意義に…との思いで
開催を続ける京都支部の総会。
新生なって早や二十回を迎えた。

つた。
ここ数年、京都在住の河田悌
一学長が連続して出席くださる
とともに、名誉教授の横田健一、
廣田君美、高堂俊弥各先生もお
元氣な姿を見せてくださる。
ドイツのビアパーティーを思
わせるような「バイエルンブラ
ス」のにぎやかな演奏に誘われ
て、おおいに呑み、語り合うこ
と二時間あまり。初参加の十四
人も打ち解けながら、楽しいひ
とときを過ごしてもらえた。



京都支部総会



神戸支部総会

（広報委員長・山口 進）
（いぐち・井口俊博）〇七五―
三五―一二二二
**新たな半世紀のスタート
五十二年目の定例総会**
神戸支部（西村太一支部長）
の五十一年目の定例総会が、六
月九日にホテルオークラ神戸に
来賓、現役応援団を迎えて、百
五十人を超える校友が集まって
開催された。
渡邊泰之幹事長（昭42法）が
開会挨拶、応援団第八十五代の
田邊弘団長により学歌斉唱、西
村支部長（昭31法）が挨拶。一
軸浩幸校友会長、牧村史朗京都
支部長より来賓挨拶、近隣支部・
団体の来賓紹介。第一部を吉田
健剛副幹事長（昭40法）と前田
由利（昭61工建）の司会で進め
た。定例総会では事業報告など

あなたも自動車保険を節約できるチャンスです。

まずは、お見積から。

そんぽ24 自動車保険

インターネットから <http://www.union-sv.com/car>

または 0120-24-3724（代理店コード2470213）。

関西大学生協グループ

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社 豊中市新千里北町2-20-8 関西大学支店 吹田市千里山東3-10-1 関西大学生協本部内 TEL 0120-505-421

議事が承認された。

第二部の懇親会は矢田立郎顧問（昭46法・神戸市長）が挨拶、齋藤富雄副支部長（昭44法・兵庫県副知事）が乾杯し開宴。春の叙勲で前支部長の芦田弘逸相談役（昭33法・前兵庫県副知事）が瑞宝中綬章を受章されたので、野村典子副幹事長（昭48商）よりお祝いの花束を贈った。

また春の統一選挙で活躍した兵庫県・神戸市議会「関大党」校友が挨拶、大拍手を贈った。

続いて現役生のモンゴル馬頭琴演奏家の劉国興さんが素敵な音色を響かせた。盛会の中、応援団による演舞演奏の熱演が繰り広げられ、参加者はわれわれの立脚点をよみがえらせた。

第二部は、神戸平成倶楽部の山本智子幹事（平8社）、今中寛幹事（平9商）、藤澤薫幹事（平18院法）の司会により、さわやかな進行となった。

閉会挨拶を大濱道子副支部長（昭44法）が行い、最後は会場いっぱいの輪をつくり、逍遙歌に心も揺らした。昨年、創立五十周年を迎えた神戸支部は新たな半世紀に向かって一年目のスタートに立った。

（幹事・平10商 四方信也）

（東光商会気付Ⅱ〇七八―四五三―二二二）

メール kua-kobe-owner@yahoo
groups.jp
URL <http://groups.yahoo.co.jp/group/kua-kobe>

七期連続当選の武田氏が講演 校友懇話会による「時局講演会」

六月二十八日、伊丹シティホテル三階「光琳の間」において伊丹支部（加藤拓支部長・昭40工）総会が会員、来賓合わせて四十五人の出席を得て開催された。

第一部の総会では、田邊弘広援団長のリードにより学歌斉唱の後、校友物故者への黙祷を行い、加藤支部長の挨拶に続き、ご臨席いただいた校友会、近隣十支部からの来賓紹介の後、代表として寺内俊太郎校友会副会長より大学の近況報告を含めた「強い関大」を彷彿とさせる祝辞を頂戴した。



伊丹支部総会

続いて議事に入り、上程された四議案について慎重審議の結果、原案通り承認された。

今年は統一地方選挙の年にあたり、四月八日に兵庫県選出が、同月二十二日には伊丹市選出が行われ、当支部から県議一人、市議三人がその榮譽を手にされた。

第二部では、今回を含め県議七期連続当選を果たされた武田丈蔵氏（昭30法）に「時局講演」を願った。その長い経験が踏まえての話は大変興味深く、話の端々に出てくる氏の政治家としての先見性、洞察力、決断力そして実行力に出席者一同敬服したところである。

つづいて第三部に移り、近隣支部を代表して渡邊泰之神戸支部幹事長の発声により恒例の日本酒（伊丹は「清酒発祥の地」）による乾杯が行われ懇親会に入

った。延長国会で出されていた禁足令が解かれたとして急遽駆けつけた衆議院議員の木挽司副支部長（昭56法）の会期中の臨場感ある挨拶、また市内外で広くボランティア活動を展開されている三木一仁氏（昭44法）の「曲芸駒」といっていいのか、そのユーモアある妙技が飛び入りで披露され、参加者の感歎と笑いを誘うなど和やかに終始した。

た。

懇親会の中締めとして、この度めでたく当選された伊丹市議三人のうち出席されていた、いずれも初当選の加藤光博（昭53社）・北原速男（昭54法）の両氏から今後の抱負も含めた挨拶があった。その後、逍遙歌を声高らかに歌い、濱田正義副支部長の閉会の挨拶で再会を期し総会を終えた。

（古屋敷達夫）

（ヒラク・加藤拓Ⅱ〇七二―七八五―五五〇七）

「歴史を訪ねる会」で宝塚北部へ 支部セミナーは「争族」税対策

宝塚支部（高橋一夫支部長）では活動の充実に向け、七月八日に宝塚の歴史を訪ねる会を、八月四日に支部セミナーを相次いで開催した。

第四回となった宝塚の歴史を訪ねる会は宝塚の北部地域を歩いた。市指定天然記念物の松尾湿原や九三七年創建の波豆八幡神社（国の重要文化財）や県指定文化財を含む波豆石造美術群を訪れた。幸いにも梅雨の合間の晴天に恵まれ、自然豊かな西谷散策が楽しめた。講師は校友の直宮氏（49院文）でいつもながらの博学の説明に聞きいった。

参加者の中には氏の「追っかけ」もいるようだ。



宝塚支部 歴史を訪ねる会

支部セミナーは要望もあり、関心が高い「知って得する相続と贈与」について支部の監事である税理士の門田氏（39商）があつと驚く事例を取り上げて、ユーモアたっぷりに「争族」にならないための相続や相続税対策等について判りやすい話があった。その後懇親会があり、ビールを片手に「遺書はこの世とあの世を結ぶ架け橋」との名言も飛び出し、更につっこんだ内容の意見交換とともに会員どうしの交流もなされた。

参加者は二事業とも二十人だったが新しい参加者も増えており、是非次回も開催をのちに励まされ、今後さらに工夫していきたいと思っている。

（副支部長 兼丸秀樹）

（塚本寿一Ⅱ〇七九―七八五―一四九一）

〈各地支部だより〉

第5回宝塚の歴史を訪ねる会 高松塚古墳のセミナーを開催

宝塚支部の宝塚の歴史を訪ねる会では、第五回を記念して「高松塚古墳の発掘と壁画保存の問題点―古墳解体に際して―」と題するセミナーを開催することになった。

これまでの歴史を訪ねる会でお世話になっている直宮憲一氏（49 院文）が、昭和四十七年の高松塚古墳の歴史的発見に立ち会ったとの話を聞いた会員からの強い要望があり、直宮氏の協力を得て企画したもので、十一月十日（土）の午後一時半から三時半まで、宝塚市立国際・文化センター会議室で開催する。会場の都合で定員は四十人程度。参加費は三百円（資料代、飲物代）。

参加希望者は、十月三十日までに氏名、卒業年度・学部、電話番号を記して、担当の兼丸秀樹副支部長まで FAX（〇七九七―八四―八三六九）で申込み下さい。

清涼の六甲山荘で 合同の夕涼み会開催

川西支部（水口博喜支部長）のゴルフ愛好会・釣り同好会・KK 歩こう会、三会恒例の合同夕涼み会が、八月二十六日から

一泊二日の日程で関大六甲山荘で開催され三十二人が参加した。

三十度を超える炎天の下界を離れ、山頂近くの六甲山

荘周辺を散策して集合。担当のゴルフ愛好会の田中会長が挨拶し、菅原顧問の発声で乾杯、水口支部長の本年度総会への抱負を含めた祝辞で開宴。バーベキューに舌鼓を打ち、アルコールもまわって盛り上がったところで、三会の各世話人から春の活動報告、秋の計画説明が行われた。中でも活動報告では思い出やエピソードの披露で座は一層賑やかになった。

湯川歩こう会会長の中締めの挨拶で、会場をカラオケ室に移し、自慢のノドを競い合い、時間を忘れて楽しんだ。

翌朝、全員で解散式の後、ゴルフ、散策、温泉等へと三々五々、六甲山荘を後にした。

（副支部長・山内眞一郎）
（猪名川住建・中西清之〇〇七二―七五七―四三九二）



川西支部合同夕涼み会

百五人が参加し盛況

高橋教授が大坂文化遺産の講演

高槻島本支部（清水利男支部長）総会は七月三十一日、たかつき京都ホテルで百五人の参加者を集めて盛大に開催された。

総会は学歌斉唱の後、清水支部長を議長に選出し、事業・会計報告など上程議案は満場一致で可決され、平山副支部長がスムーズな議事運営に謝辞を述べ滞りなく終了した。

学術講演では、高橋隆博文学部教授が、「なにわ・大阪文化遺産学」をテーマに、二十一世紀の大阪における文化資源の活用をめぐる将来像や文化遺産を核とした地域活性化に寄与する道などを、ユーモアを交えた軽妙な名調子で語った。天神祭・住吉大社など大阪人が身近に感じる祭りや歴史的に由緒ある社寺を題材にした格調高い講演に参加者は魅了され、熱心に聴き入っていた。



高槻島本支部総会

懇親会は尾松恵美子さんの名司会で華やかに開会、清水支部長が関西大学発展に奥本務高槻市長の行政手腕に期待するとの挨拶を述べ、これを受け奥本市長は関西大学が高槻市の町づくりに寄与している現状と、今後は関大と高槻市の連携がますます深まることを期待すると応えた。

木谷晋市総合情報学部教授が乾杯の発声、参加者は元氣いっぱいグラスをつき合わせ、あちこちで一年ぶりの再会を喜びあう姿が見られた。今回は地元的女性サークルが力強い和太鼓演奏を披露、会場の雰囲気もぐっと盛り上がった。そして日本クラウンの結城彩さんの歌謡ショーでより和やかにになり、参加者は結城さんとのデュエットで自慢のノドを披露した。

宴も盛り上がった頃、参院選大阪選挙区に立候補していた林省之介氏が多忙な選挙戦の合間をぬって会場に姿を現すと、参加者からひととき大きな拍手が送られた。

楽しい懇親会も終わりの時がきて、事務局の奥田恵造氏の指揮で全員肩を組み逍遙歌を合唱、そして総会に友情参加していただいた他大学出身者に敬意を表しエールを贈った。

夢は見るだけでなく、叶えるものである。

1960年代初期、このまま会社勤めで人生を終えるか、若い時外国を見るべきか悩んだ末、私は100ドルを懐に米国留学した。後悔しなくなかったから…。そしてバイクで世界旅行へ。定年後、私はロサンゼルスで過ごした青春の足跡をたどる。

「発展途上国」日本から、豊かな国アメリカへ乗こんだ若き日の著者が経験したものは何か。人種差別、黒人運動、ベトナム戦争、反戦運動、ヒッピーの出現などを背景に、カリフォルニアで過ごした熱き日々、オールディーズを回想する。

広大な宇宙の一生に比べ、一瞬の人生、如何に生きるか？人生を模索している若き後輩たちとビートルズ、ベンチャーズ・サウンズをエネルギーに今がある同世代の方々へ贈る。

■エッセー「カリフォルニア'60年代の記憶を訪ねて」

著者 大迫嘉昭/昭和37年法学部卒
新風舎 定価1400円+税



最後に小山洋三事務局長が来年の総会もより盛大な集いになることを願うとの閉会挨拶を述べた。

(畑中公太郎)

(コヤマカンパニー・小山洋三方)〇七二一六八二二五二五

近江商人と「もったいないの心」 廣瀬教授の講演に聞き入る

七月十日

に、池田支部(古川智支部長)総会及び懇親会が開催された。

一部の総会は、予定通り滞りなく終了した。



池田支部総会

二部の懇親会では、一軸浩幸校友会長や近隣支部の役員が多数かけつけ総勢四十人ほどの参加となった。

懇親会に先立ち、母校文学部の廣瀬久也教授による講演会を行った。テーマは近江商人のころと、「もったいないの心」との関係に興味深く話され、全員熱心に聞き入った。

また、一軸校友会長の挨拶の中で、関大創始者の児島惟謙先生の胸像除幕式(児島惟謙館)では、古川支部長が関大のます

ますの発展を願い乾杯の音頭をとったこと、それから新たに、政策創造学部が創設され、倉田薫池田市長が客員教授になったことなどを話され、関大の発展に池田支部が大きく寄与していることの話をされた。その後、ビンゴゲームなどを行い、それぞれの校友の近況を話しているうちに、あつという間のひと時が過ぎた。

最後に、それぞれの学窓時代の思い、社会生活での活躍などの思いを抱きながら、全員で逍遙の歌を熱唱した。

(幹事 角田明義)

(古川智)〇七二七一一五一一二六六二

竹野公認会計士が記念講演 創立二十周年記念式典を開催

関西空港お膝元の泉佐野支部(山本定夫支部長)が、創立二十周年を記念し七月十六日「海の日」に記念式典と総会をインディアンサマー・りんくう店にて開催した。

校友会本部から片山久江副会長、近隣・熊取支部から阪上克也氏らの来賓と校友二十五人が出席し格調ある式典と総会を、また和やかな親睦会を挙行了した。

第一部二十周年式典は、坂野賢治副支部長の司会で、清水雅



泉佐野支部創立20周年記念式典

彦代表幹事の開会の辞につづき、黙祷、学歌斉唱、山本支部長の挨拶の後、来賓の紹介と祝辞をいただいた。

二十周年の記念講演として、地元をはじめ経済界で人気の高い当支部の副会長でもある竹野会計事務所所長の竹野克彦公認会計士の「人類はどこから」の講演をいただき、校友一同その演題の宇宙的発想に深く感動した様子だった。

第二部として平成十九年度の総会を滞りなく遂行。その後親睦会では恒例の校友の近況報告・自己PRと合せ、和やかに会食を楽しみ校友の絆を温め意義深い記念行事だった。

(書記 竹内一郎)

(山本定夫)〇七二四一六六〇三八〇

老若男女八十人が出席 軽音楽部OBが特別出演

守口支部(吉川美恵子支部長)

の十九年度総会は、七月五日に一軸浩幸校友会長や近隣の各支部長などをお招きし、守口ロイヤルパインズホテルで盛大に開催された。

この日は、昭和二十一年卒業の葛山澄雄校友を筆頭に、平成十九年卒業の林啓太、中野隆史両君まで老若男女八十人が出席。少し体調を崩し欠席された吉川支部長に代わり、宮本隆次副支部長が挨拶のあと、校友の喜多洋三守口市長、澤井良一守口市議がそれぞれ市政の報告や四月の統一地方選挙でのお礼などを述べられた。

伊勢重治校友を議長に選出して議事に入り、篠原勝副幹事長から事業に関する報告と事業計画案を、また山本護会計から決算報告と予算案の説明があり、それぞれ満場一致で承認。

続いて、ご来賓の方々を紹介、代表して一軸会長からご祝辞をいただき一部を終了した。



守口支部総会

二部の懇親会では、西田一郎門真支部長の乾杯の音頭で宴に入り、初参加の四人をステージ上で紹介。その後、しばし料理に舌鼓を打ち、各テーブルで歓談し懇親の輪を広げた。

この日は、関大軽音楽部のOBで結成されているハワイアンバンドのトロピカルアイランダーズが特別出演。懐かしのメロディが次々と披露され、参加者を魅了した。また恒例のお楽しみ抽せん会で盛り上がった。

(山本 護)

(平井治)〇六九六九一一〇三五九

「千早赤阪村」合併など 格調高い講演と生演奏

河内長野支部(上奥雅勇支部長)の総会は、七月八日、校友会本部から一軸浩幸校友会長をはじめ近隣十支部役員を来賓に迎え、平成十七年度河内長野市教育委員会との連携協力により市内小中学校に教育実習に来ている研修生六人を招待して、天然温泉を謳う河内長野荘で総勢九十三人の参加を得て開催された。

第一部の総会では、物故者に対して黙祷をさげた後、八十三代応援団長の金信裕氏のリードで学歌斉唱、上奥支部長が挨拶

語られた。

その後、鎌田前支部長より、来年度の記念総会は二百人出席を目標にしようと現執行部に最後の檄を飛ばされた。アトラクションでは、あかり純校友を迎えてのカラオケ大会、ジャンケン大会等思い切り盛り上がり、楽しく和やかな交歓のひと時をすごした。

われわれは、決してうたかたではなく、今もこれからも永遠に関西大学という大河を流れる水であり続けるとの確信を持つことができたひと時であった。

最後に出席者全員で、応援団長のリードのもと逍遙歌を合唱の後、鎌田・岩崎新旧支部長にエールを送り散会した。

（幹事長 阪本達哉）

（岩崎事務所気付〓〇七二一九六六〇一〇一一）

地元FM局から取材受ける ケーブルテレビにも生出演

八月十八日、八尾支部（青砥申生支部長）は第三十回八尾河内音頭まつり大パレードに校友二十一人が参加した。参加者は「関西大学」と染め抜いたゆかたを着用し、観客からは関大PRにも一役と大好評の声も。

当日は、三十七度の猛暑の中、六十七団体・約三千五百人が参

加。八尾市

役所前から近鉄八尾駅前までの六百米メートルを河内音頭に乘って踊りながらパレードをした。

八尾支部

は、参加団

体の中でも注目を集め、地元コミュニティ・FMラジオ局から青砥支部長に参加の決意について取材があり、その声がラジオから流れた。また、ケーブルテレビでの生中継では、松井幸一幹事（昭41経）が、『関大ゆかた』で河内音頭解説者として生出演、八尾支部の存在感を大いに発揮した。

今回の参加が、二年後の支部結成五十周年に向け、支部校友の友情、団結を深め、多くの校友の参加を呼びかけるきっかけになればと願っている。

（中尾達夫）

（青砥申生〓〇七二一九九二一三一九〇）



河内音頭を踊る八尾支部有志

例のバスツアーは、六月三日に新緑の豊岡コウノトリの郷公園、城崎温泉と城下町出石を訪れた。今回は参加者十九人と少人数ではあったが、ゆつくり、のんびり、なごやかな一日を楽しんだ。

一旦絶滅したコウノトリを人口飼育し野生に戻して繁殖させる世界的にも珍しい試みが成功し、放鳥コウノトリのペアの間に生まれたヒナで明るい話題で賑っているコウノトリの郷公園を見学。自然保護の大切さを学んだ。

昼食は昔ながらの情緒をもつ城崎温泉の老舗旅館「ゆとうや」にて永盛副幹事長の司会、濱口相談役の乾杯で懇親会に入り、席上一人一声の勝手気儘ななごやかな挨拶。



枚方支部バスツアー

その後温泉街を散策し、外湯めぐりで温泉気分を満喫した。出石では名物出石そばを味わい、午後八時前枚方に帰って来た。

来年は枚方支部創設五十周年記念、バスツアーに代えて貸切大阪湾クルージングが計画されているので二百人以上の参加を

誓って解散した。

（副支部長・養父 孝）

（阿部進〓〇七二一八六四一一九三三）

復活総会で役員改選、懇親会

夫妻・母娘など多彩な顔触れ

西支部は、六月二十二日に区内のホテルシャン・ベル・コート大阪において復活総会を開催した。

来賓として、校友会本部から一軸浩幸校友会会長はじめ、近隣支部から前田正北支部長、斉城正之中央東副支部長、宮腰健司福島支部長、木村良雄港支部幹事長が、また松田充弘阿倍野支部長・水野芳夫幹事長、長谷部憲司西淀川支部幹事長、林省之介元衆議院議員が臨席された。

会員の参加は、三十人であったが、夫妻（河内克之・美恵子夫妻）あり、親子（寒川房枝・伸子母娘）あり、平成卒（田中剛・中川正嗣両君）ありと多彩な顔触れであった。

第一部の総会では、



西支部復活総会

**ゴクゴク飲める
しあわせよ。**

世界有数の日本の水道環境。
タブチは、給水装置の
トータルコーディネーターとして、
安心して快適な暮らしを支えています。

株式会社 タブチ URL <http://www.tabuchi.co.jp/>

本社・工場 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210
札幌・仙台・北関東・東関東・さいたま・東京・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡・南九州・沖縄・住設事業課・給水設備課・首都圏給水設備課

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会会長賞

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 **昌月堂**

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話 (06) 6641-1666(代) (06) 6641-6565(代)
FAX (06) 6647-6478

取締役会長 山 本 俊 雄(千寿会会員)
代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

〈各地支部だより〉

役員改選が行われ、支部長中野英満（昭27）、副支部長今井一男（昭31）・貴島博利（昭33）・橋口義正（昭53）、幹事長中野雅夫（昭61）及び会計監査山本守昭（昭28）と決まった。

第二部の懇親会では、和やかな雰囲気の中、予期していなかった斉城中央東副支部長の絶妙な手品に、一同拍手喝采。また、学歌斉唱、逍遙歌合唱には、第八十四代応援団副団長兼リーダー部長中村政明君が元氣よく指揮をとり、感動した。

西支部校友七百七十一人中、約二百五十人から出欠の回答があつて、次回支部総会は、望みなきにあらず、校友の共存共栄を目的として、一人でも多く参加して貰えるよう、講演等の催し物について、一工夫すべきと痛感した。

（中野雅夫）
（中野不動産鑑定士事務所内）
〇六―六二六―一五八〇（一）

支部長三十年の辻氏が辞任 後任には貞利政和副支部長

城東支部（辻佐一郎支部長）総会は、六月二十三日にホテルモントレ ラ・スール大阪において、来賓に校友会本部から寺内俊太郎副会長はじめ近隣支部代表の方々がご出席下さり四十余人の参加を得て開催した。

学歌につ

づいて辻支部長の挨拶があり、先に開催した市内支部連合会がスタートしたことに、市内の各支部の情報交換がより密になり、競って校友会活動が盛んになることを望んでいると、腰痛をおしての挨拶があつた。そして連合会の役割に注力したいので、約三十年に及ぶ支部長辞任の申し出があり、役員改選が行われた。後任には副支部長の貞利政和氏が、幹事長には後藤憲之氏、会計に竹本泰広氏を選出、各々就任の挨拶があつた。



城東支部総会

辻支部長から退任に当たり、記念として城東支部になかった校旗と国旗を寄贈して戴いた。早速掲揚させてもらい記念写真を撮った。会場が整ったところで、来賓の寺内副会長と北支部の前田支部長に祝辞を頂き、第一部のセレモニーが終了。全員集合の記念写真撮影のあと、増地事務局長の乾杯の発声で第二部懇親会がはじまり、市内支部連合会結成記念総会のビ

デオ上映、例により福引抽選の当選順に自己紹介をしたが、賑やかな時間はあつと言う間に過ぎ、逍遙歌合唱で閉会となった。もっとゆつくり出来る時間があつた残念がられることしきり。

（後藤憲之）
（後藤憲之）〇六―六九六―三三九八〇（一）

新しい校友の顔に期待 再建以来毎年総会を開催

生野支部（山本景造支部長）

総会が、今年も六月二十三日に開催された。昭和五十年一月に再建総会を開催して以来、毎年欠かさことなく定時総会が開催出来たことは、所属校友並びに役員、協力、校友会本部・近隣支部のあたたかい励ましがあつたからこそであるが、山本支部長の三十有余年にわたる情熱と努力は決して忘れることのないことである。

多くの校友が在住する当支部地区においてここ数年参加者が低迷



生野支部総会

していることは残念なことではある。ただ、今年も森寿蔵さん、松井研次さん、岡田恭典さんが初参加、少数とはいえ毎年新しい校友の顔が見られることは心強い限りであり、来年にも大きな期待をしている。

今年も片山久江副会長、辻佐一郎大阪市内支部連合会長はじめ多数の来賓に錦上添花を添えていただき、総会が大いに盛り上がったことに感謝している。

今後は若い校友も積極的に役員に登用、支部活動のより活性化を計り、校友会本部・大阪支部連への協力体制の構築、ひいては母校関西大学の発展に寄与することを目標に支部活動を続けて行きたいと願っている。

（幹事長 西田嘉男）
（山本景造）〇六―六七五―一六四五六（一）

「癒しのコンサート」楽しむ 男性カルテットのハーモニ

七月七日、大阪福島区の阪神ホテルに「六甲おろし」ならぬ「自然の秀麗、人の親和」が流れた。此花支部（平岡昭雄支部長）の復活十五回目の定時総会が、本部から片山副会長ら列席の下、六時から開催された。第一部総会では平岡支部長の挨拶の後、片山副会長から、平

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO-9001



ISO-14001



OHSAS-18001



成十九年度
文部科学省
「グローバルCOEP
プログラム」
に採択され、
私立大学で
は早稲田、
慶応、立命
館そして関
大の四校だ
けなどが詳
しく説明された。次いで平岡支
部長が議長となり本田幹事長、
政岡会計が議案を説明し満場一
致で各議案を承認、総会は滞り
なく終わった。

例年は総会・講演会・懇親会
の三部構成としていたが、今年
は趣を変え、二部に懇親会を行
いその中に「癒しのコンサート」
を入れた。

懇親会は原田副支部長の軽妙
な司会で始まった。校友で元此
花区長、現大阪市政改革室の村
上栄一氏による乾杯の音頭、昨
年体調を崩され療養されていた
が元気な姿をお見せいただいた
しばしの歓談の後「癒しのコ
ンサート」の時間となった。男
声プロカルテット「フォーラッ
ズ」(四人の野郎ども)による、
五曲+アンコール、いずれもみ
んな知っているジャズのスタン



此花支部総会

ダードナンバーから日本の歌曲、
歌謡曲まで幅広い演奏は好評を
博した。このメンバーのうちの
一人は昭和四十年代一世を風靡
したボーカルグループ「ザ・シ
ヤデラックス」のメンバー。心
地よい余韻がまだ収まらぬうち
に時は過ぎていく。

現役応援団三人による逍遙歌
が始まった。全員肩を組み普通
った千里山を思い出し声高らか
に歌い上げた。叶うことができ
ればあの青春に戻りたいと思
ったのは私ばかりであろうか。
こんな時は時間が経つのも早い。
町野副支部長による万歳三唱、
吉井副支部長による閉会の挨拶
で実り多き総会は幕を閉じた。

(平岡昭雄)
(本田組本店・本田勝則)〇六
一六四六一一九三三

**講演会で「松根油増産計画」
目標はアカデミック西成支部**

西成支部(縣莊一支部長)の
本年度目標は「アカデミック西
成支部」で、文化の薫りでイメ
ージアップを図り、地域貢献・
会員の増強に努めている。

三月十日には西成区民センタ
ーにおいて、近現代史講演会「太
平洋戦争末期の松根油増産計画」
Ⅱ全村あげて松根赤だすきⅡを、
帝塚山学院中等高等学校の廣瀬聡

教諭(平12院)を講師にお招き
して開催した。

日本の敗戦が色濃くなる中、
当時不足していた航空機燃料が
松の根から得られる松根油を精
製することで転用可能なため、
日本政府は一九四四年(昭和十
九年)十月二十三日松根油の緊
急増産計画を発表した。

原料の松の根を採掘するため
に、多くの子ども、女性、老人
が勤労奉仕として終戦当日まで
動員された。この松根油緊急増
産計画を通して近現代史や平和
の大切さを講演頂いた。

支部校友をはじめ友人の区民
の方々も含めて三十人もご参加
いただけ、盛況に終わることが
出来た。

(富永淳一)
(縣莊一)〇六一六六五九一二
四七四

**区役所勤務の校友も参加
落語の高座に酔いしれる**

六月十日、大阪ミナミの宗右
衛門町ホテルメトロ・ザ21にお
いて、西成支部(縣莊一支部長)
第五十二回総会を開催した。校
友会本部より一軸会長に臨席を
いただき、校友も二十六人が参
加した。

総会議事もスムーズに進行し、
来賓と出席者の紹介となった。
今年は西成区役所から二人の校

友が参加し、地域密着行政を推
進する西成区役所においては、
関大校友がさまざまな地域活動
の中心となって貢献しているこ
とをご紹介いただいた。

懇親会では恒例の催しとなっ
た落語の高座を二席。五十周年
記念総会の際にも大変お世話に
なった、なぎさの会の諸家栄都
会長につづいて、諸家栄太郎こ
と我等が縣支部長と、古典落語
を鑑賞し、なごやかな懇親会と
なった。

(富永淳一)

**福島学舎跡記念碑計画
宮腰支部長が推進の挨拶**

福島支部(宮腰健司支部長)
総会は、六月十六日に中之島プ
ラザに四十人が集い開催された。
総会は西村公郎副支部長(昭31
学経)が製
作した総会
用映像と音
楽が会場の
巨大スクリ
ーンに流さ
れるなか進
められた。
参加者はス
クリーンに
映る応援団
の映像と演
奏する学歌
に迎えられ



福島支部総会

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405
吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

冬の山陰/香住港 味覚の王者・松葉ガニ
本場の かに料理
11月初旬~3月末迄(予約受付中)
ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。
◆豊富な海の幸 荒磯料理 ◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
その他ご予算に応じて料理致します。

香住温泉内湯 香住生まれOBが経営しております

海辺の宿 はまかせ荘

ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 0796-36-0773 FAX 0796-36-1898 <http://www.hamakazeso.jp>
兵庫県美方郡香美町香住区下浜(香住駅から車で4分)

関西大学校友の皆様へ。
オーネットで素敵な出逢い
してみませんか。



出逢う喜び。

法人会員様は
25%OFFの
特別価格でご利用できます。

スタンダードプラン

通常料金 ¥399,600 (税込)

25%OFF

通常料金 ¥299,700 (税込)

月々のお支払いはありません。

スタンダードプランにプラスしてさらに素敵な出逢いを演出します。

プレミアムプラン

通常料金 ¥495,600 (税込)

25%OFF

通常料金 ¥371,700 (税込)

月々のお支払いはありません。

プランの詳細に関してはお問い合わせください。

結婚へつながる、赤い糸。

O-net

お問い合わせ・資料請求

フリーコール 0120-512-556

メール join@onet.co.jp

ホームページ https://info.onet.co.jp

あなたの個人情報を厳守します。

範囲:「結婚情報データマッチングシステムの運用業務」
対象事業所:「サービス本部・システム部・業務G」

結婚情報サービス協議会正会員 http://www.misc.gr.jp/

<お客様相談室>0120-13-5061 (10時~18時/年末年始を除き無休)

株式会社 オーエムエムジー

〈各地支部だより〉

入場。スプリングフェスティバルや千里山学舎の近況が映し出される度に、一新された総会の進行と映像の美しさに感嘆した。土屋義雄編集長(昭38学経)を中心に発刊された支部機関紙「関大ふくしま」第十三号が参加者に配布された。今回関大福島学舎を特集しており、大学本部に資料提供して頂き、記事、写真とも従来に増して充実した内容となり参加者の話題となった。

谷口晴彦幹事長(昭50学経)が、開会を宣言し、学歌斉唱。宮腰健司支部長(昭35学法)は支部機関紙「関大ふくしま」の記事を引用して福島学舎跡記念碑建立計画を推進し、支部活動の活性化を進めようと挨拶。続いて来賓の山田拓幸校友会組織部長より大学の近況報告と祝辞を頂き議事に移った。

○五一九

(幹事長 谷口晴彦)
(宮腰健司)〇六―六四五三―

今井信義副支部長(昭30学経)を議長に選出し、事業報告・事業予定を門矢輝彦副支部長(昭35学経)、決算報告・予算提案を今村悦造(昭34学2経)が、会計監査を土屋義雄会計監査(昭38学経)が報告、審議の後承認された。

懇親会は羽間平安前理事長の乾杯発声で開宴。成世昌平一門の各氏による日本民謡や津軽三味線、舞の披露があり、恒例の福引も有志から多数の寄贈があり、抽選会も楽しく、笑いに包まれて行われ、会場は大いに盛り上がった。

合同で講演会と懇親会
母校の倉田准教授が講演
東淀川支部(寺内俊太郎支部長)の十七人と都島支部(野村富雄支部長)の二十二人は、七月十四日、梅田の東急インで十九年度の支部総会を、総会、講演会、懇親会の三部制で開催した。



東淀川・都島支部合同懇親会

第一部の総会は個別に議事進行され両支部ともに問題なく終了した。第二部の合同講演会は母校よりシステム理工学部倉田純一准教授を招いて「高齢者に優しい生活環境」をテーマに講演していただき、高齢の段階に近い方々には興味深く感じ取られたようであった。

第三部の合同懇親会は、寺内東淀川支部長の挨拶で始まり、本部から古川好男副会長はじめ、近隣の八支部から九人の出席をいただき、総勢五十人で開会した。

関大臨床心理士会が誕生

初代会長に梶谷健二氏

七月二十一日、関大会館四階大集会室において、上原洋允専務理事をはじめ、越智光一副学長、校友会本部の山田拓幸組織部長を来賓としてお迎えし、関西大学臨床心理士会の設立総会を開催した。

最初に、設立準備会を代表して梶谷健二氏が設立の趣旨を説明。次いで来賓の上原専務理事

来賓を代表して古川副会長、辻佐一郎大阪市内支部連合会会長から祝辞をいただき、成岡昭二事務局長代行の乾杯で開宴。本年、関大一高校長に就任された豊島光男校長(東淀川支部)二一五一〇七)

(東淀川支部・木川高志)

終宴は田中正紀東淀川支部副幹事長のリードで逍遙歌を熱唱し、それぞれが個々に再会を誓い合うなか野村都島支部長の開会の辞でファイナルとなった。



臨床心理士会設立総会

佐藤純、首藤賢、二宮ひとみ、花浴友利子、会計に田口ゆき、書記に岡村香織、中村圭助、会計監査に朝比奈恭子、久本博行が選出された。

総会終了後、新関西大学会館内に懇親会を開いた。それぞれが心理臨床家としての活動状況を語り合う和やかで楽しい雰囲気の中、今後の互いの研究や活動への展望を込んだようだ。

閉会の挨拶で寺嶋副会長は、会員の活躍を期待していること、研修と交流を充実していくこと、また設立前から多大の貢献をされた本学名誉教授葉賀弘氏に深く感謝の意をささげたいこと、などを述べられた。(中村圭助)

(社会学部・寺嶋研究室気付) 〇六―六三六八―一一二一

大阪府学校秀麗会が誕生 府高等学校秀麗会が改組

大阪府学校秀麗会第一回総会が、八月二十五日に上本町・百楽本店に約三十人が参加して開催された。

その後の母体は、大阪府立高等学校秀麗会、関西大学出身の教職員のスキルの向上、研鑽と親睦を図るために一九八二年(昭和五十七年)に発足。以来二十数年間にわたって講演会や秀麗塾などの勉強会をはじめ種々の

活動が続けてきたが、本年度より小・中学校の校友教職員にも参加いただいて大阪府学校秀麗会として新たにスタートすることになったもの。

総会には、現役の教職員やOBなどが出席。議事では、会則の改正、新役員体制、会計報告、事業計画案が原案どおり承認され、会長には泉富三男・金剛高校校長が選出された。また、今後一層大学との連携強化を図り、入試説明会や教員志望学生との交流会等を実施していくとの提案もなされ、教育に対する強い意気込みが伝わってくる総会となった。

会場を移した懇親会では、初参加の会員もあつたため各自の近況を交えた自己紹介が行われ、それぞれに情報交換した。また母校入試センターのアドミッシ

ョン・コミユニケーターを務める安原敏夫OB(校友会常議員)からは関大

ネットサンスの話などを聞くこともでき、和やかで楽しい



大阪府学校秀麗会第1回総会

中にも実り多い交歓が行われた。本会では、これからも様々な事業を行い、教職に携わっている校友をサポートしていくので、勉強会など気軽に参加していただきたいと思っている。

(事務局・釘田直久)

(釘田直久) 〇七二―九四九―四三二四

新入会員21人の歓迎会

森本理事長ら来賓多数

七月十三日に司法書士関大会(塩田貴美代会長)の新入会員歓迎会兼合格祝賀会が、大阪キヤッスルホテルにて、法人より森本靖一郎理事長、教学より安部誠治副学長、校友会より一軸浩幸会長、加藤安宏総務副部長、友好団体の関大法曹会、公認会計士関大会、会計人会より来賓を迎え、総勢六十三人の参加を得て開催された。

佐竹正康副会長の開会の辞で始まり、学歌を斉唱し、次いで塩田会長が挨拶した。その中で、昨年は教学より河田第一学長が出席を、本年は学校法人より森本理事長が当会のために出席戴けたことのお礼と、本年の新入会員は入会の申し込みがあった二十一人のうち、歓迎会に十三人の参加を得たことを報告した。続いて、来賓の森本理事長よ

特許・商標・出願全般
特許侵害事件
内外国
鮫島国際特許事務所
所長・弁理士 鮫島武信

大阪市西区北堀江一丁目七番三号 大花興産ビル2F・3F
(四ツ橋交差点西角・地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣)

電話大阪 06 (6531) 7 4 3 1 (代)
ファックス 06 (6531) 7 4 3 5

YKK
AP



FACADE
DESIGN &
ENGINEERING

YKK AP株式会社
ビル建材第一事業部 大阪統括営業部
〒540-8534 大阪市中央区谷町4-8-7
TEL: 06-6947-4141
http://www.ykkap.co.jp/facade/

〈各地支部だより〉

大阪司法書士
北田五十
喜一相談役、
表して植田
会員を代



司法書士関大会新入会員歓迎会

ある新入会
員一同に、
壇上で自己
紹介及び今
後の抱負等
を述べても
らった。

続いて、加藤副部長の発声で
乾杯し、歓談に入った。新入会
員と既存会員が和気藹々の中、
祝電の披露の後、本日の主役で

記念品の贈呈が行われた。
最後に一軸会長より、司法書士
関大会の会員の三人が、地域支
部の支部長に就任しており、校
友会に貢献しているとの報告を
受けた。そして、乾杯に入る前
に新入会員全員に一軸会長より

り、今後の新人合格者に対して
は、学校と共催の方向で祝賀会
を検討するとの約束があった。
また、安部副学長より、平成
十九年度のグローバルCOEプ
ログラムにおいて、関西大学か
ら申請していた東アジア文化交
渉学の教育研究拠点形成のプロ
グラムが採択された旨の報告が
あった。なお、私立で採択され
たのは四校のみとのことだった。

士会会長、井上利博京都司法書
士会前会長よりお祝いの言葉を
戴いた後、新入会員及び来賓を
交えての記念の写真撮影を行っ
た。

最後に、上田真之介幹事のリ
ードで逍遙歌を全員で合唱し、
久保田和郎副会長の閉会の辞で
お開きとなり、散会した。

（副幹事長 辻井宏之）
（塩田司法書士事務所気付〓〇
六―六九四三―一七二四）

新卒会員の内八人が入会 バザー売上の一部を寄付

在阪の自動車業界に従事する
校友で組織している自動車関大
会（大神勝美会長）の第四十二
回定時総会が、七月十日に港区
の三井アーバンホテル大阪ベイ
タワーで七十七人が出席し、来
賓として中村良介校友会副会長、
北嶋弘一システム理工学部教授・
自動車部顧問を迎えて開催され
た。

第一部は、学歌斉唱、会長挨拶
のあと議事が進められ、報告
承認事項である十八年度の事業
報告、会計報告が満場一致で承
認された。来賓を代表して中村
副会長より大学の近況や校友会
の活動などについて挨拶をいた
だいた。その後、新卒会員が紹
介され今年は八人が入会した。



自動車関大会総会

近年は女性の新卒会員の入会が
増え、今年も三人が入会した。
また母校への支援事業として自
動車部に対して大神会長より顧
問である北嶋教授に支援金が贈
呈された。北嶋教授からは最近
の自動車部の活動についてご報
告をいただいた。

第二部は乾杯の後、懇親会に
移り、恒例のチャリティバザー
が催された。出席者からさま
ざまな出品があり、売り手と買
い手の競り合う声が飛び交う中、
日頃は仕事上ライバルである会
員同士がこの時ばかりは楽しく
和やかなひとときを過ごした。
売上金の一部は大阪交通災害遺
族会への寄付に充てられる。チャ
リティバザーのあと、常任
幹事全員が登壇して自己紹介を
行なった。役員と会員が交流し親
睦を深める時間を持った。

（事務局長 中野吾一）
（大阪トヨタ自動車・中野吾一
〓〇六―六四五一―六八五三）

天満天神繁昌亭と相生楼へ 恒例の納涼懇親会

二九千里会（鈴木清子会長）
では、恒例の納涼懇親会を七月
十三日、天満天神繁昌亭の鑑賞
とすぐ近くにある老舗の割烹相
生楼での会食で楽しんだ。

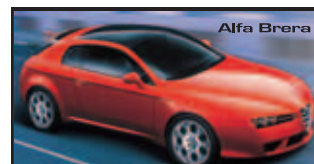
当日は朝から生憎の雨であっ
たが、当会のオブザーバー藤本
道人校友会前事務局次長、それ
に遠く福岡から原忠夫氏、滋賀
から吉羽氏を迎えて三十九
人が十二時を目処に天満宮の正
面鳥居に集合、切符を手にして
繁昌亭に入場した。

繁昌亭は、本学の校友である
河村静也君（桂三枝師匠）が、
大阪に是非とも席亭をとの熱い
思いから設立されたものである。
椅子席二百の館内はこじんまり
としていて、天井には沢山の提
灯が吊るさ

れていて、
寄席らしい
雰囲気、身
を包む。約
三時間に渡
る熱演には
時間を忘れ
て鑑賞、そ
の巧みな話
術にはテレ
ビ・ラジオ
では味わえ



二九千里会納涼懇親会

 Alfa Brera  HUMMER H2	 ホームページ最新ニュース (What's New) 毎日更新 http://jiron-auto.co.jp <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>FIAT AUTO JAPAN 正規代理店</td> <td>CITROËN CITROËN JAPON 正規代理店</td> <td>LOTUS LOTUS EUROPA 正規代理店</td> <td>HUMMER 三井物産 (株) 代理店</td> <td>Cadillac 三井物産 (株) 代理店</td> <td>CATERHAM SUPER7 林和商会 代理店</td> <td>モーターオートウェア 代理店</td> </tr> </table> ジロン自動車株式会社 昭和37年 商学部卒 会長 吉田 尚司 TEL.06-6644-0010 (代) FAX.06-6644-0011 〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 □日曜・祝日も営業致しております。 □営業時間 日・祝10:00~19:00 平日9:00~19:00 □年中無休	FIAT AUTO JAPAN 正規代理店	CITROËN CITROËN JAPON 正規代理店	LOTUS LOTUS EUROPA 正規代理店	HUMMER 三井物産 (株) 代理店	Cadillac 三井物産 (株) 代理店	CATERHAM SUPER7 林和商会 代理店	モーターオートウェア 代理店	 CITROEN C6  LOTUS EUROPA S
FIAT AUTO JAPAN 正規代理店	CITROËN CITROËN JAPON 正規代理店	LOTUS LOTUS EUROPA 正規代理店	HUMMER 三井物産 (株) 代理店	Cadillac 三井物産 (株) 代理店	CATERHAM SUPER7 林和商会 代理店	モーターオートウェア 代理店			

ない迫力を感じた。

公演終了後、歩いて三分の相生楼へ移動、繁昌亭には出席出来なかった岡田氏、赤松氏、水島氏を加えて和やかな懇親会をもった。相生楼は関大の前身・関西法律学校の第一回校友総会（明治三十年十二月八日）が開かれた由緒のある料亭とのことで、部屋の佇まいや庭の一本一草にも大先輩のまなざしが感じられるようであった。

会食は大村幹事の開会の挨拶、鈴木会長の挨拶、水野初代会長の乾杯の音頭で開宴。スピーチでは、原忠夫氏が高校まで過ごされた東京荻窪での生い立ちを著された「荻窪アウトルー」の披露など話題はつきず、和気藹藹の懇親会となった。

（森 知子）

（森知子）〇六―六三八八―三五九二

トヨタ専務の井川氏が講演 「よき大学教育が大切」

博修士会（北嶋弘一会長）総会及び学術講演会は、七月二十八日に盛会のうちに行われた。第一部の総会は、物故者への黙祷と学歌斉唱で始まった。続いて、北嶋会長と来賓の挨拶があった。来賓の一人、越智副学長は、挨拶の中で関西大学大学院

の近況について博修士会の会員の理解を求める発言があった。

次に、北嶋会長の議長の下で議事に入った。まず十八年度事業報告および収支決算について詳細な報告があり、監査報告を経て、両議案は承認された。次いで、十九年度一般会計収支予算（案）について説明があり、了承された。

総会終了後、学術講演会が開催された。今年の講演会は、社会連携推進本部と科学技術振興会等の協賛を得て、例年に見られないほどの盛況であった。河田悌一学長、池内啓三常務理事、越智光一副学長他、学内外の会員および多数の一般の参加者を見ることのできた。

講師は、トヨタ自動車の専務取締役および生産技術本部長の要職につかれています井川正治氏である。井川氏の講演は、「日本経済とトヨタの課題―生産現場のトップが語る世界標準『トヨタウェイ』―」と題するものであった。



博修士会総会

同氏の講演では、トヨタが編み出した独自のプロダクション・システム―「トヨタ生産方式」―の真髄をうかがうことができ、そのリアリティとコンセプトを理解することで、我々の思考回路の転換を迫るものであった。

また、井川氏は、「世界に通用する製造業の活性化を図るには、良き大学教育を通じて優れたエンジニアと経済観念の豊かな学生を世に送り出すことが大切である」という印象的な言葉で講演を結ばれた。

講演会終了後、以文館の食堂で短時間ではあったが、井川氏を囲んで、終始、なごやかなうちに懇親会をもつことが出来、実に有意義な半日であった。なお、末筆になったが、今年は女子秀麗会の会員も久々にご出席下さり、会は華やいだ雰囲気であった。

（広報部 北川勝彦）
（システム理工学部・中原住雄）
FAX〇六―六三八八―八七八五

二期から五十九期まで参加 「病氣と仲良く」テーマに講演

一高同窓会（田中義昭会長）の委員総会が、六月十四日に大阪梅田の阪急ターミナルスクエア・17にて開催された。

当日は梅雨空にもかかわらず、



一高同窓会委員総会

二期生の大先輩から、初々しい五十九期生まで総勢約七十人の参加のもと、木川高志副会長の開会の挨拶で始まり、古淵孝仁の司会進行により、物故会員に黙祷を奉げた後、田中会長の挨拶ならびに豊島光男校長の挨拶と抱負を伺った。

その後、報告事項に入り、まず役員の異動報告と新役員の紹介（会計・陰地陽介氏）、続いて五十九期新委員の紹介（五人）があり、当日は、井川菜美さんが出席してくれた。

議事については、田中議長のもと行事報告・行事予定、会計・監査報告・次年度予算案、六十年記念事業について審議し、すべて承認された。

二部のミニ文化講演会では、六塾博治参与から「病氣と仲良く」と言うテーマにて講演を頂いた。三度にわたる癌との闘い、また術後のケアを医療器具をまじえながら、リアルにお話し

制御盤配電盤製作・計装、電気工事

ISO 9001:2000取得 cert No:ci/1275



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所
及工場 〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

資料無料送付

えん しょう 子 掌

180粒 18,900円(税込)
特許番号 第2535674号

ヘルスケア研究所

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値。今回、やっと下げるモノが見つかりました!」と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料でお送りいたします。

☎0120(090)3558
http://0240-110.com(糖尿二〇番)



社会学部同窓会幹事会

ただき、また前向きに明るく生活されている大先輩の姿に深く感銘し、会場も大きな拍手にまつまれた。

（副会長・24期 坂本全宏）

（中野雅夫Ⅱ〇六―四三九一―七六一〇）

高槻で大人の夏休み楽しむ 40周年記念事業に結集を 社会学部同窓会（中村仁会長）

は、八月二十六日に、校友会主催のアイスアリーナでの現役部員による模範演技の見学を兼ねて、高槻キャンパスにて幹事会を開催した。参加は十人。

とても暑い日でしたが、涼しいアイスアリーナで模範演技に目を奪われ、セミナーハウス高岳館にて、社会学部創設四十周年事業の中で、十月七日（日）の『Home Coming Day』には、多くの社会学部卒業生が集まることができるよう学部で連携を深めていこ

うと話し合いがもたれた。終了後には、顧問の東村高良教授に高槻キャンパスを案内していただき、大人の夏休み“を楽しんだ一日でした。

（幹事 原田夏子）

（中村仁Ⅱ〇九―一三九七―二六〇八）

天満天神繁昌亭と夕食会 秋の行事へのお誘い

女子秀麗会（仁井ひろみ会長）

では、“笑う門に福来たる”にあやかり、その名のとおり繁昌の天満天神繁昌亭で寄席を見物（昼席一時から四時ごろまで）、落語でリラックスの後は、創業百八十年の相生楼（天満宮表門前・五時から）で老舗の秋の味覚をいただきます。

繁昌亭へは行きたいと思っているけど、まだ行ったことがない、行つたけれどもまた行きたい、という校友の皆様！ご家族お友達もご一緒にご参加下さい。“笑い”は健康の潤滑油、笑って、食べて、おしゃべりして、晩秋の一日をご一緒に楽しみましょ

う！
日時は十一月二十五日（日）正午集合、場所は天満天神繁昌亭前。費用は八千円。但し天満天神繁昌亭（二千円）相生楼（六千円）。お忙しい方は、どちら

か一方だけでもご参加いただけます。締切りは十月三十一日まで。

（連絡先 事業部・岡田由美Ⅱ
〇六―六九四二―二六五一・
Fax 〇六―六七四六―一三五
E-mail f4@okada-inc.co.jp）

上林先生叙勲祝賀会開く 参加者は八十人に及ぶ

名誉教授上林良一先生が、本年春の叙勲において瑞宝中綬章の榮に浴された。この榮譽を讃



上林先生叙勲受章祝賀会

えて、七月十二日の夕刻に、大阪・梅田の新阪急ホテルで「上林良一先生叙勲受章祝賀会」が開催され、参加者は八十人に及んだ。

今回は、先生からの強いご要

望もあり、呼びかけもごく内輪の範囲に限定された。母校から河田学長、上原専務理事、一軸校友会長のほか、市原法学部長、孝忠政策創造学部長、成岡校友会事務局長代行の多彩な顔触れが参席された。

祝賀会の進行は、主催団体である政治学会がつとめ、学部二十七年会・校友会泉南支部・ワンダーフォーゲル部OB会・上林先生の門下生と、それぞれのパートから、祝辞が呈せられた。なかでも政治学会は、岩崎卯一元学長が昭和の初期に、在学生に政治学の研鑽のため創設された研究団体として、古い伝統と歴史をもつ。

当日も、羽間、篠原、東山の各顧問をはじめ、中野、坪井、北川一成、木挽の国会組から、足高大阪市政議長ら地方政界組に至る、重鎮が華を添えた。

（吉田之計）

二〇二二年の誕生に期待 関大の一貫教育構想

天商関大会（山田榮一会長）

は、八月二十日、KKRホテル大阪で年一回定例の会を開催した。当会は、かつては、廣瀬捨三先生と大西昭男先生という二人の学長を輩出した会で、平成十四年の発会以来各年、連続開

催している。



天商関大会

当日は、参加者二十人でやや淋しかったが、会員で会計専門職大学院教授の柴健次先生から天商の将来を占う、スパービジネスハイスクール構想に至る経過についてのお話をいただき、関大との七年間一貫教育についての連携に、今後の当会の重みを感じながら、来る二〇二二年の誕生に大きな期待をかけた。

次いで、この度の大阪弁護士会会長選挙で、見事当選を果たされた会員山田庸男氏が多忙の中出席され、ご挨拶を戴いた。

（山田榮一）

新調なった紫紺の部旗贈呈 創部30周年記念総会で

関大イエローサブマリンテニ

スクラブは、創部三十周年を記念して六月三十日に大阪市北区の堂島ホテルにて記念総会を開催。OB三十二人・現役四十三人が集い盛会となった。

OB会世話役代表潤井氏より開会の挨拶・物故者への黙祷の

あと懇親会へ。各々近況について語り合ったり、テニスの用意された現役当時の写真を肴に盛り上がりたりと和やかな雰囲気の中、交流を深めた。また、OBと現役生がテニス談義に花を咲かせるなど、卒業してからもOB同士・OBと現役との絆が強いサークルであることを改めて感じることができた。

二年連続でオール関大テニストーナメント団体戦準優勝した現役のめざましい活躍や個人表彰を行い、また、OBから現役生へ新調された紫紺の部旗が贈呈された。最後に関西大学応援歌を熱唱。全員肩を組んでの恒例のエールで締めくくられた。



関大イエローサブマリンテニスクラブ創部30周年記念総会



校友会活動に積極参加を 支部春季ゴルフ会で誓う

例年の池田支部（古川智支部長）春季親睦ゴルフ会は、梅雨

時期と重なり降雨覚悟で臨んだところ、参加者の日頃の善行が効き幸運にも曇天ながら降雨もなく近隣支部（川西、箕面、



池田支部春季親睦ゴルフ会

豊中）及び倉田薫池田市長他の参加を得、七月七日に地元の池田CCにおいて総勢二十八人の参加で盛大に開催された。競技終了後、19番ホールでの席上、著しい発展を続ける強い母校の姿に話が及び、質量共に他大学を上回る教育内容の昨今と、OB各位から現役当時のカレッジライフをトレースビリー

イーするにつけ羨ましさと同時に誇らしさを覚える旨の話があり、今後関大校友としてのプライドをもって校友会活動に積極参加しようと話し合った。

最後に秋の再開を約し散会した。戦績は、優勝 角谷憲昭、準優勝 倉田薫、三位 中田満。

（廣芝國夫）

会と催し

- 掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先、電話番号）の順。
- ▽大阪家事調停協会関大会総会 10月5日（金）午後6時 プリムローズ大阪（鍋島均）〇七二二二一五二六九
- ▽宝塚支部（韋水会）総会 10月6日（土）午前11時 ホテル若水（塚本寿一）〇七九七七八五（一四九二）
- ▽川西支部総会と交歓の夕べ 10月6日（土）午後6時 アステ川西6階大ホール（8千円、女性及び同伴家族は5千円、新卒者は無料。猪名川住建・中西清之）〇七二二七五七四三九二
- ▽東住吉支部総会 10月7日（日）正午 天王寺東映ホテル（8千円。飛翔法律事務所・中村潤一郎）〇六六六九一七七八五
- ▽奈良泉関大倶楽部総会 10月7日（日）午後5時 ホテル日航奈良（9千円。鉛谷隆司）〇七四二四三三三九五〇九
- ▽学部二十七年会卒業55周年記念総会 10月13日（土）正午 千里山キャンパス・関西大学会館4階・大集会室（8千円。畑下公認会計士事務所・畑下辰典）〇六六七七三三三三三三
- ▽鶴見支部総会 10月13日（土）午後6時 京橋・大北京（徳野豊）〇六六六九二一九三五七
- ▽九千里会総会 10月14日（日）午後1時 肥後橋・徐園（森知子）〇六六六三八八三三五九二
- ▽愛知支部総会 10月17日（水）午後6時 名古屋観光ホテル（1万円、平成9年・18年卒7千円、19年卒及び同伴家族3千円。原勝也）〇五七二二七七八一六五
- ▽箕面支部総会 10月20日（土）午後5時 箕面観光ホテル（日産チェリ）箕面販売・藤元尚宏）〇七二二七三二一五五八二
- ▽三重中勢支部再建総会 10月20日（土）午後5時 近鉄津新町駅・プラザ洞津（8千円。
- 津市役所教育総務課・村田宗秀）〇五九一二九一三三四〇
- ▽応援団OB長柄会総会 10月20日（土）午後6時 新阪急ホテル（1万円。中村司法書士事務所・中村博）〇六六六七〇五五五七八
- ▽香川支部総会 10月20日（土）午後6時 リーガホテルゼスト高松（8千円、新卒・女性・同伴家族は6千円。原司法書士事務所・原享可）〇八七七八二二一〇二二二
- ▽大分千里会総会 10月20日（土）午後6時 全日空ホテルオアシスタワー（7千円。徳重忠男）〇九七七一七二七八七〇〇
- ▽三八会（体育会・応援団38年卒）第4回同期会 10月23日（火）午後6時 阪急ターミナルスクエア17・ふじの間（8千円。野球部・草川雄二）〇七八一九一〇六三二
- 陸上競技部・八木正）〇七五二四一六八九三
- 射撃部・女川隆）〇六六八六二一五三〇
- ▽高知支部総会 10月27日（土）午後5時 高知市・三翠園（岡内紀雄）〇八八八七三三三三三
- ▽枚方支部総会 10月28日（日）午後5時 関西医科大学枚方病院13階・展望レストラン（阿部進）〇七二二八六四一九三三
- ▽二八会同期会 11月1日（木）正午 千里山キャンパス・百周年記念会館（5千円。辻見重行）〇六六六六一四三三七五
- ▽秀麗寮士会総会 11月3日（祝）午前11時 千里山キャンパス・百周年記念会館（関西大学総務課・斎藤忠彦）〇六六六三八六三〇八
- ▽会計人会総会 11月6日（火）午後6時 太閤園（1万円。中村良介税理士事務所）〇六一六四四二一七五一
- ▽泉南支部総会 11月11日（日）午前11時 マリンロッジ・海風館（築野由照）〇七二四一七六一七八二
- ▽生駒支部総会 11月11日（日）午後5時 近鉄生駒駅前・メルヘン（6千円。杉岡昌彦）〇七四三三七八〇三〇三
- ▽交野支部創設20周年記念総会 11月17日（土）午後6時 交野市立保健福祉総合センター（安原敏夫）〇七二二八九二一六七（一四）
- ▽備後支部総会 11月17日（土）午後6時 福山駅前・福山ニューキャッスルホテル（福山包装・畦崎雅則）〇八四九一四三一一七四二
- ▽山口千里会総会 11月17日（土）午後6時 新山口駅前・山口グランドホテル（北乗吉道）〇八三一九八六二二二二
- ▽平野支部総会 11月17日（土）午後7時 フェイスゲストハウス・月華殿（8千円、平成17・19年卒は無料。田中義信法律事務所）〇六六三六一〇三三八
- ▽貝塚支部再建総会 11月18日（日）午前10時 全日空ゲートタワーホテル大阪（麻生川章）〇七二四二二七〇〇八六
- ▽沖繩支部総会 11月22日（木）午後6時 沖繩ホテル（5千円。三宅勲）〇九八八八九七一〇八二八
- ▽司法書士関大会総会 11月30日（金）午後6時 大阪キャスルホテル（塩田司法書士事務所・塩田貴美代）〇六六六九四三一一七二四
- ▽猪名川支部総会 12月2日（日）正午 まなか旅館（大西経二）〇七二二七六六〇二七九
- ▽静岡支部総会・四大学交流会 12月9日（日）午後1時 静岡クイポール会館（山口健一）〇五四二四五一二八五四

校友イベント

笑いプロジェクト発足記念 笑わせ力発進寄席 開催!

朝日新聞や読売新聞など各紙で紹介されている「笑いプロジェクト」は、法学部卒業生矢野宗宏と社会学部卒業生堀登志子が、広島大学准教授山本公平を仲間に発足した新規プロジェクトです。

この笑いプロジェクトの発足を記念して、七月二十八日難波市民学習センターで寄席を開催しました。口上、矢野の落語・山本の漫談の後には、名誉教授井上宏先生、卒業生の子育てコン



サルタント原坂一郎氏も招いてのパネルディスカッション。大笑いと、白熱した議論が大爆笑。お越し戴いた皆様好評の内に終了いたしました。

景気回復といいながらも実感の伴わない世の中、企業にも教育機関にも活気が失われていると感じることはありませんか。

それは人間関係が疎遠になり楽しい会話がなくなり、場の空気に力がなくなっているからではないでしょうか。

笑いプロジェクトは、人を笑わせることによってコミュニケーション能力を高め、自分のビジネスの業績アップや充実した生活の糧となすための「笑わせ力」を研究するプロジェクト。

この研究成果としてご提供するの「笑わせ力スキルアップセミナー」。笑いやユーモアを、コミュニケーション手段の一つとして、ビジネスを始め様々な場で活かす力を身につけるセミナーです。理論と実践のバランスを重視し、笑いの受信者から発信者になることで、自信が生れ、積極的になり、企業力のアップに寄与します。

今後とも企業や教育関係、医療関係の方々にセミナー

プログラムを利用していただくべく、各地で活動を展開する予定です。興味を抱かれた方はぜひご一報下さいませ。

◆お問合せは、堀（〇九〇一四三〇一七二五六七）まで。

（堀 登志子）

児玉美知子さんが第3回個展 9月25～30日に西宮北口で

本紙五三七号（平成19年新年号）の「きらっ人校友録」に登場された書道家・中国山水画家の児玉美知子さん（雅号・幽苑、平15字一巾）が、9月25日（火）から30日（日）まで、阪急西宮北口駅北出口すぐの西宮市立北口ギャラリー（アクタ西宮美術館6階）で、「第3回児玉幽苑中国山水画個展」を開く。午前10



「春光」

結婚相談

今、入会金5万円・月々1万円で
何人お見合いしても
「お見合い料無料」の
うれしい「定額コース」が大人気
（万一、2年以上活動の方は月々0円でお世話致します）

ドクターズコース、一般コース、再婚・熟年コース

大阪
（阪急梅田東）
OSビル10F

京都
（四条烏丸・京都大丸前）
京都恒和ビル6F

神戸
（神戸三宮そごう南隣）
神戸国際会館19F



お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
0120-676-231



本社：大阪市北区小松原町3-3 OSビル10F
京都市下京区四條通高倉西入立売西町82 京都恒和ビル6F
神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
www.m-road.co.jp ●営業時間／10:00～19:00 ●年中無休

株式会社 Marriage Road
エムロード®

結婚相談の(株)エムロード
大阪・神戸・京都、豊富な会員数
と「成婚率の高さがキメテ!!」
が大評判!!

「成婚率の高さがキメテ!!」が評判の
(株)エムロード大阪・神戸・京都が大好評!!
お見合いパーティーはレギュラー開催をし、
ご好評を得ています。〔ザ・リッツ・カールトン大阪又はヒルトンホテル1万円/食事・飲物付き〕
「会社と家の往復で、出会いがない。」「知人に頼むのもなんとなく気兼ねする…」。
そんな方に素敵な出逢いをサポート!!
一般・ドクター・再婚中高年など各コース
充実。関西中心に自社会員のみで構成。専任
アドバイザーによる親身なお世話が評判です。
★エムロードはここが違う!! ①質の高い
会員制②専任アドバイザーによるマンツ
ーマン制③コンピューターまかせでない
自分選考④一流ホテルでのパーティーで
の出逢い⑤期限なく
まとまるまでお世話
⑥お見合い料・月会
費無のリーズナブル
な定額コース有。

私たちがお世話します。



エムロードは
関西大学ご卒業の皆様の
ご結婚を応援致します。

時午後6時、最終日は午後5時。入場は無料。

児玉さんは、22歳の時から書道教室を開いているが、阪神淡路大震災で全壊した自宅に埋もれ、利き腕の右手が思うように動かなくなり、筆を左手に持ち替えた。震災後から関大卒業まで8年間、夏の一カ月は上海へ語学留学。卒業後は上海に部屋を借り、中国山水画の呉一平氏に弟子入り。現在は、書道と水墨画を教えながら、毎月約一週間は上海のアトリエで作品づくりに取り組んでいる。

今回は、「春光」(24・5×34・5cm)、「帰牧」(45×48・5cm)、「太行秋色」(27×24cm)など、新作45点を含め53点の作品を展示する。

内藤稜児氏の卓上カレンダー 平成20年版2種類を発売

主に日本の風景写真や山野草等を撮り続け、詩情豊かな作品を世に送り出している写真作家の内藤稜児氏(本名・和雄)昭和29学一法)が、恒例の卓上カレンダー平成20年版2種類を発売した。

20年の作品は、稲穂の実る棚田の畦に曼珠沙華が群れで咲く「彼岸の頃」(9月)や、竹林の青竹の幹に雪の吹き付けた部



分を切り取った「雪の時雨れ」(12月)など表紙を含め風景写真13枚組の『瑞美の趣』と、「山野の草にも、心もあれば表情もある。と私は信じていた。一花の心を知り、その語りかけに答えられれば、どんなに素晴らしいかと想う」と選んだ山野の花13枚組の『山野の草譜』。題字は、当麻寺・宗胤院住職の宮下寛昇氏(昭42学一法)。

卓上カレンダーは、ジュンク堂書店堂島本店などで発売されるが、得意先への配付などをお考えの場合は、光稜テクノアート主宰の内藤氏(電話〇六一六七七一八〇一一、FAX〇六一六七七一八八三二)まで。

校友短信

◇愛媛県・松前町議会議員に藤岡緑氏初当選 8月26日に投票された愛媛県伊予郡松前町議会議員選挙で、無所属新人の藤岡緑氏(ふじおか・みどり)旧姓松本、昭51学一法)が見事初当選を飾った。54歳。

◇サンユレック社長に奥野敦史氏就任 6月1日付。奥野敦史氏(おくの・あつし)昭42学心化・44院修化)

は、昭和44年関西大学工学部助手、同年サンユレジン(現サンユレック)入社。59年日本レック(同)常務、平成13年サンユレック常務。同社では初の技術系社長。63歳。

◇矢作建設工業執行役員広島支店長に清水満氏就任 6月28日付。清水満氏(しみず・みつる)昭52学工一)は、昭和52年矢作建設工業入社。平成16年大阪支店土本部長、19年広島支店長。

53歳。

◇オンワード樫山社長に水野健太郎氏就任 9月1日付。水野健太郎氏(みずの・けんたろう)昭48学一法)は、昭和48年オンワード樫山入社。平成8年大阪支店次長、10年取締役、12年常務執行役員、16年から同大阪支店長。57歳。

純粋持ち株会社移行に伴う人事で、オンワード樫山はオンワードホールディングスのアパレル事業の一〇〇%子会社となる。

新刊紹介

河田 悌(学長)著

『書の風景』

二玄社 刊
定価 一、六〇〇円+税



と人と中国と」。本学の河田学長が、五年の歳月をそそいで、新進気鋭の書家になった教え子の松村洋君(昭63学二中)に頼まれ、書道雑誌に執筆されたものを集大成した書物である。

いまでこそ、就職のときの履歴書もワープロ、パソコンで横書き。だが、私が学生だったころは、みんな毛筆で一生懸命書いたものだ。

だから、私は現在でも、正式の手紙、改まった書簡は、みな筆で書いている。

そんなわけで、著者からこの書物を進呈されたとき、我が意を得たり、とうれしかった。そして二氣呵成に読んだ。実に久しぶりに。

王羲之や顔真卿、李白や杜甫、

それに蘇東坡など名前を知っている書家や詩人もおれば、張瑞図や章炳麟など、どう音読すればよいのかわからぬ人物も出現する。

しかし、学長のやさしい語り口でその人物の人となり、略歴が紹介されると、何だか昔からの知人や友人に会ったかのような印象をもつ。

それだけでなく、学長は私より一回り以上若いのに、我々の世代なら語らねている和歌などを、よく知っておられる。例えば、「敷島の 大和心を 人間ばは、朝日ににほふ 山ざくら花」。

また、「あとがき」によれば、学長のご母堂はこの連載を数え年九十で亡くなるまで、楽しみにし

題して『書の風景』。副題が「書

て読んでおられたようである。

学長と同じく父親を早く亡くした自分は、親孝行な学長をよく知っているだけに、そのご母堂のお葬式を思い出しながらこの書物を読み終えたのだった。

関大校友諸氏は、ぜひこの書物を購入して、書の大切さ、字をきちんと書くことの重要さを、そして筋の通った人としてのあり方を、学んで欲しいものである。

(小坂道二理事、体育OB会会長)

吉原栄徳(昭33院修国)著

『和歌の歌枕、地名大辞典』

おうふう社 刊
定価 一五、二〇〇円



B5版、約一千三百頁の本辞典

は、現園田女子大学名誉教授吉原栄徳先生が長年にわたる研究、平安時代より江戸時代中期までに記された歌学書十六編の「歌枕」の所在国名を改めて検証されたものである。万葉歌や勅撰歌の「歌枕・地名」を網羅され、その地理や

用法までも記されている。

吉原先生の専攻は王朝文学であり、その和歌の世界にある地名数四千五十三个所に留まらず、山川などの事象が組み合わされた名所、約六千七百個所という膨大な資料の整理から始まる作業は何年にもわたり、それは言葉では書き尽くせないほどである。本書は研究者のみならず、文学、歴史の愛好家や、歌人、旅行愛好家へのガイドブックとしても十分楽しんでいただけるものと確信する。

(田中義昭)

菅原 巖(昭34学二史)著

『川西の歴史と産業』

創元社 刊
定価 一、五〇〇円＋税



著者は、川西市議会議員を三

期務め、二期目に副議長、三期目に議長及び全国市議会議長会監事等の要職を歴任。市議引退後の現在は、(社)川西市社会福祉協議会会長の重職にある。

本書は全十四話から成り、前著『川西の人と歴史』(創元社刊)とともに、川西の過去、現在及び未来を語るに格好の材料を提供してくれる。

第一話 賀茂遺跡とともに有名な勝福寺古墳を紹介、その出土品・被葬者等についても詳しく論述する。

第二話 西行法師とも因縁の深い川西の地名「鼓が滝」を彼の生涯と絡めてこれを歴史的・文学的側面から考察する。

第三話 多田源氏の多田蔵人行綱と大物で遭難した義経との関係を史書に基づき論断する。

第四話 一刀流の武芸「円明流」を紹介して宮本武蔵と多田源氏との接点を探る。

第五話 豊臣家とも縁の深い多田銀銅山の消長について詳しく解説する。

第六話 川西市とは山門二つで境を接する能勢妙見宮の伝説と信仰について述べる。

第七話 江戸時代中期に興り、明治以降の盛期を経て、平成十七年末を以て幕を閉じるに至った川西皮革産業の推移について解明を

試みる。

第八話 猪名川の鮎漁業、里山のクスギを原料とする「庫炭(ひとくらずみ)」や多田にあった茶園などを紹介する。

第九話 多田銀銅山とともに、貨幣経済に貢献した川西の木綿栽培の実情について報告する。

第十話 有名な丹波栗の生産地が、実は丹波ではなく北摂の地であったとして、これを具体的数値を用いて証明する。

第十一話 知名度が上昇中の川西の布目早生桃の生産状況について紹介する。

第十二話 現代イチジクの発祥地で、生産量では現在全国第五位を占め、イチジクワイン「川西の朝霧」でも知られる川西イチジクの現状を紹介する。

第十三話 昭和二十九年八月一日、県内十八番目の川西市(当時の人口三万三七九八・七五三三世帯)の市制施行に至るまでの越境合併論など、紆余曲折、波乱万丈の大ドラマを語る。

第十四話 平成七年二月十七日の阪神淡路大地震による被害状況、その復興に向けての市議としての生々しい体験談を綴る。

巻末の「川西略年表」は、日本年表とも対比できるので利用には大変便利である。(F)

お悔み申し上げます

〈敬称略〉

上田 博(うへだ・ひろし) 昭25高1・29学二商 平成18年7月24日死去。74歳。八尾市。

井堀善夫(いはり・よしお) 昭18專二経 9月22日死去。84歳。八尾市。

中尾英一(なかお・えいち) 昭13関甲 12月1日死去。85歳。三木市。

岡田一夫(おかだ・かずお) 旧姓光野、昭29学法・32院修私、元校友会代議員 平成19年6月23日死去。76歳。大阪府。

田中 完(たなか・たつ) 昭29学二法 7月14日死去。77歳。防府市。

田端昭雄(たばた・あきお) 昭23專二経・25学二政、元泉佐野支部長、校友会代議員 7月22日死去。80歳。泉佐野市。

村田幸子(むらた・さちこ) 旧姓梶田、昭53学二英 8月16日死去。51歳。大阪府。

田尾一郎(たお・いちろう) 昭28学二政、陸友会 陸上競技部OB会前会長、校友会代議員 9月1日死去。76歳。芦屋市。

昭和26年の第1回アジア大会(ニューデリー)で中距離代表に選ばれ、八〇〇m4位、4×四〇〇mリレーで2位に入賞した。

生活総合産業の
担い手として、
さらなる挑戦へ。
失敗を恐れず積み重ねた、チャレンジの数々が
明日のマンション業界を大きく変革させます。

住まいと暮らしの新しい価値を創造する日本エスリード。

日本エスリードは、2006年のマンション供給ランキング※において、近畿圏・大阪市内・京都市内のいずれのカテゴリにおいても第1位に輝き、トップディベロッパーとして目覚ましい実績を残しています。平成4年の設立以来、「快適なマンションライフを提案する」を経営理念に、お客様の立場に立った企画・提案、そして販売・アフターサービスにいたる多彩な分野で活動を繰り広げた結果、創業以来完成在庫はゼロという堅実な経営が続いています。弊社では代表取締役を始め、数多くの関西大学OBがさまざまな部門で活躍しており、来春にも多くの新入社員が仲間に加わる予定です。若い頃から任される大きなプロジェクトを通じて、専門知識や情熱を完全燃焼させられる風土。わたしたちの躍進の原点はそこにあります。

※2007年2月16日付 不動産経済研究所発表データ

国土交通大臣免許(3)第5489号

(社)不動産協会会員 東京証券取引所 1部上場 大阪証券取引所 1部上場

日本エスリード株式会社

代表取締役社長 荒牧 杉夫(昭54学1経)



日本エスリード株式会社のホームページ
インターネットでもエスリードシリーズのマンション発売情報を提供しています。
<http://www.eslead.co.jp/>

携帯電話からもご覧になれます。

iモード <http://www.eslead.co.jp/i/> ソフトバンク <http://www.eslead.co.jp/vb/>
au <http://www.eslead.co.jp/au/>

〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-2400 (大阪駅前第3ビル24F・25F) 総合受付24FTEL.06(6345)1880(代) FAX.06(6345)1770